

令和2年度 事業報告書

社会福祉法人 北摂杉の子会

I. 事業報告

1. 法人本部

令和2年度社会福祉法人北摂杉の子会年度方針

1. 障害のある人のニーズ・障害福祉事業環境の変化に対応した支援サービス・事業の見直しと収支の改善

(1) 「レジデンスなさはらもとまち」の全面開所に向けての人材確保を行う。

【成果】

- ・レジデンスなさはらもとまちは、平成31年4月に開所を迎えたが、人材確保が課題となり、2番館のみのスタートとなった。早期の全面開所を目標に、募集を掛けていたが、非常勤スタッフの確保が厳しい状況が続き、結局、1番館ご利用者は1年間お待ちいただくことになってしまった。
- ・令和2年春の開設を目標に、新規採用者を3名、嘱託職員2名を確保して配属することで、全面開所に至ることが出来た。

(2) 児童発達支援部「自閉症療育センターLink」における療育児の確保、「児童デイサービスセンターan」事業所を「サポートセンターPASSO」事業所に移し、運営の効率化を図る。

【成果】

Linkについて、交野市との調整の結果、定員枠が3名から10名に増加した。

anについて、杉の子ビルに移転し、PASSOとの効率的な運営を目指した。

PASSOについて、新型コロナウイルスの影響を受け、遠方から利用するご利用者が通所しづらくなるなど、経営的にも今後の事業運営を検討する事態となった。この流れを受け、令和3年3月で個別療育の形態を終了することとし、法人内で今後の中高生支援の在り方について再検討することとなった。なお、令和3年度には児童発達支援部の職員が事業所の枠を超えて集まり、anにて年4回の中高生支援プログラム（PASSOくらぶ）を実施する予定である。

(3) 就労支援部「ジョブジョイントおおさかたかつきランチ」における利用者確保、「LaLa-chocolat TAKATSUKI」における令和2年度目標工賃の達成と収支の改善を図る。

【成果】

JJおおさかは、Webサイトによる広報戦略、見学会の頻度を月1回から週1回に増やすなどの取り組みにより、見学から利用につながるケースは増えた。年度の下半期には利用定員は満員となり、JJおおさかの十三・高槻ともに充足を維持して運営ができている。

LaLa-chocolatは、新型コロナウイルスの影響により、4月・5月の売上が減少したが、6月以降は売上を回復させることができ、年間売上は前年度とほぼ同額であった。工賃支給額についても減額することなく、維持することができた。収支改善については引き続き取り組んでいく必要がある。

(4) 地域医療支援部「すぎのこ訪問看護ステーション」における収入確保を図る。

【成果】

前年度約 1,500 万円であった収入は、令和 2 年度は 2.5 倍の約 3,800 万円確保できた。

- (5) 「(仮称) 相談支援・人材育成研修部」を設置し、「生活支援センターあんだんて」

「こども相談支援センターwish」「大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか」

「人材育成研修室」を統括する組織改編を行い、相談支援のサービス水準を落とすことなく、赤字収支からの脱却を目指す。

【成果】

令和 2 年度より相談支援・人材育成研修部を設置している。部内で課長級を含めた会議を実施することで、各部署や、各地域（大阪府、高槻市）の状況を共有している。

収支に関しては各事業所が事業収入の増加に向けた取り組みや人件費の見直しを行うことで赤字幅は減少した。

令和 3 年度は、大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさかを理事長直轄の部署として再編し法人内の大阪府委託事業と連携しながら大阪府に対しスムーズな事業提案を行える体制とする。

2. 法人中期計画未達成事業・令和 2 年度新規事業の運営に注力する

- (1) 「ジョブサイトひむろ」の施設整備事業を令和 4 年度に完遂する。

【成果】

- ・現在の氷室町の場所での「建替え」を目指し、地主様、隣接の保育園様と調整を行い、整備の検討を進めている。
- ・令和 5 年 4 月の開設を目標に、1 期工事、2 期工事に分けて建設を進める予定。2 期工事には、施設整備国庫補助金申請を行う予定で、ご利用者のニーズや高齢化に対応した施設整備を目指し、継続的に取り組んでいる状況。

- (2) 令和 2 年 4 月に「レジデンスなさはらもとまち」の全面開所を行う。

【成果】

- ・令和 2 年 4 月に全面開所を行った。開設当初はコロナ禍で緊急事態宣言中ということもあり、利用自粛される方もおられたが、夏以降は、利用も安定し、当初予測以上の利用率となった。
- ・毎週、ミーティングを実施することで、支援や対応の統一を図り、早期のご利用者の安定につながっている。
- ・懸案事項であった、2 番間の欠員も 9 月より新規ご利用者を迎えることが出来た。

- (3) 十三地区グループホームの開設と運営に注力する。

【成果】

大阪市淀川区三津屋北に 3 階建てのグループホームを開設することとなり、名称を「レジデンスよど三津屋北ホーム」と命名した。ジョブサイトよど及びジェイ・ブランチよどのご利用者 10 名が入居することが決定しており、準備会を立ち上げご利用者ご家族や関係者との打ち合わせ、行政との協議等を進めながら 9 月の開設を目指した。

しかし、職員（嘱託職員、非常勤職員）の確保が思うように進まず、10名入居に必要な職員数を確保することができなかった。そのため9月にまず1階（入居者4名）のみ開設し、ご利用者のグループホームでの生活を開始した。その後、11月に2階（入居者2名）を開設したが、年度中に必要な人員数を確保することができず3階（入居者4名）を開設するには至らなかった。

そのため、当初予算とは大幅な見直しが必要となったが、ジョブサイトよど、ジェイ・ブランチよどとの連携しながら、三津屋北ホームの正職員を中心に必要な準備と対策を図り、ご利用者のグループホームへの移行や実際の暮らしについては大きな混乱もなく、安定した暮らしを提供することができている。

(4) 「萩の杜」の高齢化・重度化対策についての検討を継続する。

【成果】

“萩の杜 高齢・重度化対策プロジェクト”の期間を延長して議論を進めている。利用者の高齢化対策として住環境の“小規模・分散化”を目標に、生活棟本館の改修案(浴室と多目的トイレの全ユニットへの整備)と共同生活援助事業を利用した高齢化対応の生活棟別館の建設についての基本方針をまとめた。プロジェクトは次年度も継続して実施する。

3. リスク管理体制の強化を図る

(1) 新型コロナウイルス感染防止の組織的な取り組みを徹底する

【成果】

各事業所において感染防止を徹底して実施する。陽性者は職員1名のみ発生したがクラスターにはならなかった。特に入所系事業所において感染発生時の体制マニュアルを整備した。国からの慰労金もすべての職員と関係者に支給した。感染防止備品については、法人後援会からの寄付や大阪府の緊急包括支援補助金を活用して不足なく調達できた。

(2) 利用者の安全・安心な暮らしの提供を推進するための事故・リスク管理の組織的取り組みを強化する

【成果】

高槻地区において、外部講師によるリスクマネジメント研修を開催した。そのうえで、事故報告書を「インシデントレベル」から「対応レベル」に変更した書式に改定し、地区レベルで対応が必要な事案については、高槻地域生活総合支援センター会議において検討することとなった。今後は、法人全体での書式の標準化と、内部監査についても検討していきたい。

4. 人材確保と育成、労働環境の改善

(1) 引き続き人材確保対策についての検討と取組を進める。

【成果】

正職員採用について新型コロナウイルス感染拡大のため、例年のように法人説明会を

実施することが困難であったが、リモート面接を早期に導入して、できうる限り求職者に対して法人事業の紹介を進めた。結果、令和3年度採用者は16名となった。非常勤職員の採用については、時間がかかった事業所もあり今後の課題をなっている。

(2) 女性管理職の登用とワーク・ライフバランスの推進

【成果】

女性管理職として課長級を6名登用した。管理職中の女性管理職の割合は40%となった。各種育児制度の活用を希望する職員に適切に案内と手続きをすることができた。

(3) 職員間のコミュニケーションの活性化

【成果】

今年度よりタウンホールミーティングを全事業所に実施して、理事長が現場職員とコミュニケーションをとる機会を増やして、相互理解を深めることができた。会議体規程を定めて会議議事録を共有してコミュニケーションの促進に効果があった。zoom等のICTを活用したリモート会議をすることで遠隔の事業所間でも時間をかけずに意見交換ができることを可能とした。

5. 利用者の権利擁護・虐待防止の推進

(1) 利用者の意思決定支援を支える「社会参加(様々な経験への支援)」「自己選択・自己決定できる環境の提供と支援」「表出コミュニケーション支援」を推進する。

【成果】

表出コミュニケーション支援への取り組みとして「PECS」の手法を取り入れた支援を実施している。児童精神科医の門医師が法人内事業所を訪問してスーパーバイズを実施している。経年で支援に取り組んだ結果、カードなどツールを使つての表出コミュニケーションが見られるようになった事例もでている。

また、あゆみ学園では全職員がPECSの研修を受講し、積極的にPECSの手法を活用した支援に取り組んでいる。

6. 地域貢献活動の推進

(1) 障害のある人が地域住民と「共に在る」環境を作るために、地域に根差した具体的な取組を様々な非営利組織や個人との連携の中で進める。第4次5か年中期計画で掲げた「地域を耕す」のビジョン実現に向けて、具体的な計画策定と実施を行う。

【成果】

アクトおおさかの公開講座として支援者向け、府民むけの2講座をZOOMで実施した訪問看護では社会福祉協議会と連携を図り、利用者をボランティア活動につなげた。あんだんてが中心となり、高槻市内の相談支援事業所と連携会議を月1回実施して地域の課題や情報共有を行っている。令和2年9月開設のレジデンスよど三津屋北ホームは、地元の町内会へ加入して地域住民と良好な関係を構築できている。

7. 法人の社会的責任・法令順守

- (1) 「働き方改革関連法案」や厚生年金の短時間労働者に対する適応拡大などの制度改定を踏まえて、非正規職員の方々の働きやすい環境の検討や改正法令を熟知し、法令順守を行う。

【成果】

令和2年度からの働き方改革法に対応するため、雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保と不合理な待遇差を解消するために法人の各規程の改正を行った。同一労働同一賃金を担保するために常勤、非常勤職員の労働内容を整理して職員へ周知をした。令和2年度については職員からの本件による改善要求はなかった。

2. 法人事業部

(1) 令和2年度重要実施事項

- ①新規事業の開設準備をサポートする。
- ②法人事業部主導の採用計画を進めて必要な人材を確保する。
- ③ワークライフバランスに配慮した職場環境作りを進める。
- ④自閉症啓発デー等の地域住民を対象としたイベントを令和2年度4月に開催する。
- ⑤収支予算計画作成及び収支予算の進捗管理の精度を高める。
- ⑥法人事業部の各業務における業務改善を目指す。

(2) 令和2年度の取り組み内容と評価

- ①三津屋北ホームを令和2年9月に開設できた。ジョブサイトひむろ移転の進捗管理を経営会議で行い、同地での建て替えでの開設のめどをつけることができた。
- ②新型コロナウイルスの感染が広がる中、リモート面接等を実施して16名の正職員採用ができた。非常勤職員の確保には課題が残った。
- ③前年度に引き続きタウンホールミーティングを全事業所で行った。同一労働同一賃金に対応した規則類の整備を完了した。
- ④イベントは実施できなかったが、高槻市役所やJR高槻駅前でライトアップを行った。啓発用のリーフレットを作成して配布をした。
- ⑤月次決算を遅滞なく進めて、経営会議に報告し予算執行管理を遂行した。課題の多い事業について経営会議で定例で検討することで対応を進めた。
- ⑥給与ソフトの導入を進めたが年度内に導入することはできなかったので次年度へ持ち越すことになった。

3. 萩の杜

(1) 令和2年度重要実施事項

- ①生涯にわたる地域での暮らしの実現
 - i) “萩の杜 重度・高齢化対策プロジェクト”を継続して実施し、“より小ユニットでの暮らしと個室化”に向けた計画を立案する。
 - ii) 高齢・重度化を見据えた個別支援を事業所・職種間連携を図りながら遂行する。
 - iii) 生活介護 従たる事業所(ふれっと なさはら)の安定運営に取り組む。

②人権を守る砦となる

- i) 利用者個々の障害特性に応じた“合理的配慮”に基づく支援を展開する。
- ii) 利用者の“意思決定”“表出性コミュニケーション”支援に引き続き取り組む。
- iii) 業務の振り返り(年2回)とeラーニングを活用し、権利擁護意識を高める。

③働く人のチャレンジと成長を支える組織

- i) 法人の人材育成とリンクしながら、個人研修計画を立案・実行する。
- ii) 効果的な内部研修を企画・実行する(年3回程度)。
- iii) 全体会議や支援会議等を見直し、業務改善等の提案につなげる。

④地域の全ての人たちから信頼・必要とされる法人

- i) 週末閉所している、ふれっと なさはら建物の休日の有効活用について検討する。
- ii) 施設実習や見学等の受け入れを積極的に進め、障がい理解等の啓発に努める。
- iii) 安全対策委員会等、家族会との協同を継続し透明性のある施設運営を目指す。

⑤健全でタフな財務基盤の構築

- i) 強度行動障害支援者養成研修の計画的受講を引き続き行い加算取得を継続する。
- ii) 引き続き全体会議等において収支確認を行い、固定費削減等に取り組む。

(2) 令和2年度の取り組み内容と評価

①生涯にわたる地域での暮らしの実現

- i) 1年間の期限を設けたプロジェクトであったが、期限を延長して検討している。2020年度は館内の改修と高齢化に対応した別館建設構想について基本方針をまとめた。
- ii) 重度・高齢化に対する個別支援について、事業所間に加え家族ともケース会議を実施した。高齢・重度化が課題となっている為、今後も継続して実施する必要がある。
- iii) 生活介護 従たる事業所について、職員体制の充足に努めた。予定していた非常勤職員の確保をすることができたが、利用者の環境調整については引き続き取り組む必要がある。

②人権を守る砦となる

- i) 毎月の支援会議での検討を通して、合理的配慮に基づいた支援の展開に努めた。必要な環境整備等も含め、継続して進めていくことが必要である。
- ii) PECS研修への参加を継続し、現場での実践を進めた。個別支援への反映等、継続して取り組む必要がある。
- iii) クレドの振り返りを計画通り実施した。一方、eラーニングの個人視聴については進まず課題が残る。

③働く人のチャレンジと成長を支える組織

- i) 個人研修計画を立案することができた。強度行動障害支援者養成研修やサービス管理責任者研修等、加算取得や事業運営に必要な研修受講が優先となる傾向が強くなっているが、各支援員が希望する研修参加についてサポートすることができた。
- ii) コロナ禍の為、内部研修の実施は新入職員対象研修も含め2回に止まった。12月の実践報告会については計画通り開催した。実践報告会開催が支援員の意欲向上に繋

がったと考える。

iii) 会議の見直しについては具体的に進めることができなかった為、次年度の継続課題とする。

④地域の全ての人たちから信頼・必要とされる法人

i) コロナ禍の為、生活介護 従たる事業所の週末有効活用について進めることはできなかった。コロナ収束後に検討を再開することとする。

ii) コロナ禍の為、見学の一部受入れのみで実習については受け入れを中止した。

iii) 重度・高齢化対策プロジェクトについては計画通り実施できたが、安全対策委員会についてはコロナ感染防止の観点から中止とし、家族会定例会での報告に止まった。適切な情報提供等、透明性のある施設運営に取り組むことで、家族の安心感に繋がっていると考えられる。

⑤健全でタフな財務基盤の構築

i) 強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)を3名が受講した。加算取得の為、計画的受講を次年度も継続していく。

ii) 全体会議において定期的に収支確認をおこなった。固定費削減等について、引き続き努力していく必要がある。

4. 短期入所（ぶれす・ぶれいす Be）

(1) 令和2年度重要実施事項

①生涯にわたる地域での暮らしの実現

i) 必要に応じてサービス担当者会議等に出席し、関係機関との連携を図る。

ii) 利用者満足度調査を実施し、サービス内容の振り返りをおこなう。

iii) 重症心身障害児者の受け入れについて、生活介護事業所との連携を図る。

※ぶれいす Be

②人権を守る砦となる

i) 業務の振り返りとeラーニングを活用し、権利擁護の意識を高める。

ii) 引き続き萩の杜と合同でリスクマネジメント活動を実施する。※ぶれす

iii) PECS研修に参加し、表出コミュニケーション支援を行う。

③働く人のチャレンジと成長を支える組織

i) 毎月の合同会議を継続し、情報の共有や課題解決に向けての検討をおこなう。

ii) 年3回の内部研修を継続し、ケース検討等を通じて支援力を高める。

iii) 年1回のストレスチェックを実施し、産業医との連携を図る。

④地域の全ての人たちから信頼・必要とされる法人

i) 緊急時の受け入れや満床時などの利用調整をおこない、利便性を高める。

ii) サービスの質の向上を図り、選ばれる短期入所事業所を目指す。

⑤健全でタフな財務基盤の構築

i) 月1回収支の進捗管理を行い、収支改善に向けた取り組みを検討し実施する。

ii) ぶれす/Be 短期入所の統合や機能整理等、安定した運営体制の確立を目指す。

(2) 令和2年度の取り組み内容と評価

①生涯にわたる地域での暮らしの実現

- i) 必要に応じてサービス担当者会議等に出席し関係機関との連携を図った。事業所間で利用者状況の共有を図ることができ支援の質の向上に繋がっていると考える。
- ii) 利用者満足度調査票について具体的に進めることができなかった。
- iii) 新規で重症心身障害の方の受け入れをおこなった。引き続き重症心身障害の方の受け入れを進めていく必要がある。 ※ふれいす Be

②人権を守る砦となる

- i) 業務の振り返りチェックシートを両事業所とも実施した。次年度以降も振り返りを継続して実施し、人権意識の向上につなげる必要がある。
- ii) リスクマネジメント活動を通して事故予防等に取り組んだ。安心安全な利用環境提供に向けて引き続き取り組む必要がある。
- iii) ふれいすにおいては計画通り PECS 研修に参加して実践に活かした。
ふれいす Be においては、写真カードを使って意思表示がしやすい環境を整えた。

③働く人のチャレンジと成長を支える組織

- i) 毎月の合同会議を継続して開催し、情報共有や課題解決の議論を進めた。利用者状況や運営状況等を共有して、各課題解決等に繋げることができた。
- ii) 合同研修を企画し、感染症対策の研修やケース検討等をおこなった。職員育成は重点課題の為、次年度以降も継続して実施する。
- iii) ストレスチェックを6月に実施した(対象：週30時間以上勤務の職員)。

④地域の全ての人たちから信頼・必要とされる法人

- i) 利用者の受け入れに関して、必要に応じて両事業所で利用調整を図った。同法人内事業所のメリットを活かした利用調整について今後も継続する。
- ii) 新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、安心して利用いただける環境を整えた。コロナ禍での利用を自粛する利用者もある為、引き続き感染防止対策の徹底をおこなう必要がある。

⑤健全でタフな財務基盤の構築

- i) 合同会議等において定期的に収支状況等を共有した。コロナ禍による利用希望の減少とともに人材確保に等に苦戦しており、受け入れ人数を制限して調整しなければならぬ状況が続いている。
- ii) 安定した事業運営に向けた機能整理について、方針を決定する必要がある。

5. ジョブサイトひむろ

(1) 令和2年度重要実施事項

- ①生涯に渡る地域での暮らしの実現
- ②人権を守る砦となる
- ③働く人のチャレンジと成長を支える組織
- ④地域のすべての人たちから信頼・必要とされる法人

⑤健全でタフな財務基盤の構築

(2) 令和2年度の取り組み内容

①生涯に渡る地域での暮らしの実現

- i) ジョブサイトひむろ建て替え工事については、1年延期となった。
- ii) レジデンスなさはらもとまち全面開所のフォローと新規利用者受け入れを行った。
- iii) 生産活動、および日中活動全般の見直しを図り、健康、予防プログラムをより充実させた。
- iv) ご家族、関係機関とのパートナーシップの強化に努めた。

②人権を守る砦となる

- i) ご利用者の意思決定支援と表出コミュニケーション支援を推進した。
- ii) 権利擁護虐待防止計画の推進と進捗管理を行った。
- iii) 説明責任と合理的配慮の徹底に努めた。

③働く人のチャレンジと成長を支える組織

- i) 非常勤職員の確保と定着に努めた。
- ii) 働き方改革に対応するための職場環境と体制の整備について検討した。
- iii) 支援者間の連携を密にするため、事業所内での研修を通じ、支援の統一と質の向上につなげた。

④地域のすべての人たちから信頼・必要とされる法人

- i) 新型コロナ禍により、地域イベントが軒並み中止になったため、イベントへの参加や、地域資源の積極的な活用には至らなかった。
- ii) i) と同様の理由により、事業所からの発信や、地域社会とつながりを深めることはできなかった。

⑤健全でタフな財務基盤の構築

- i) 事業所内で収支の進捗確認を毎月実施した。
- ii) 人員確保と計画的な研修受講により、各種加算の拡充を検討した。

(3) 評価

①生涯に渡る地域での暮らしの実現

- ・ジョブサイトひむろ建て替え工事については、隣接する保育園の移転先の整理がつかず、1年延期となったが、大家さんと法人とで定期的な進捗確認を行った。
- ・レジデンスなさはらもとまち1番館の開設に伴い、介護タクシー等の活用により、送迎体制の変更を行い、他の課題と併せて解決を図った。また、新規利用者4名の受け入れも行った。
- ・5月の前期利用者健診の際に、オプションで骨密度検査を行った。また、日々のバイタルチェックに血圧の測定も追加した。
- ・レジデンスなさはらとの連携会議についてはオンラインを併用し、継続して実施した。また、新たにレジデンスなさはら2丁目とも連携会議を始めた。

②人権を守る砦となる

- ・11月の門先生の事業所訪問の際には、4名のご利用者のセッションの際に、直接SVを受けた。また、それらをまとめた冊子も作成し、事業所内だけでなくGHとも共有した。
- ・トーキングマットの研修会、およびフィードバック研修を実施し、一部のご利用者のモニタリング、個別支援計画書の策定の際に活用した。
- ・9月にクレド、および事業所の振り返りチェックシートを実施した。
- ・夏のボランティア体験プログラム、地域の中学校の福祉体験実習は中止になったものの、例年、受け入れを行っている相談援助実習に加え、スポットで他法人、事業所で受け入れられなかった相談援助実習や、大阪府のモデル事業の現地研修、インターンシップの受け入れを行った。

③働く人のチャレンジと成長を支える組織

- ・年初に3名、11月～3月にかけて7名の非常勤職員を確保した。今後は雇用形態に関わらず、働き方の多様性やメンタルヘルスに対し、組織として対応することが定着のための課題である。
- ・働き方改革への対応については、各グループ、フロア単位では有給休暇の取得ができていないが、特定の職員が取得しにくい状況を改善する必要がある。
- ・事業所内でPECSのSVの報告会、トーキングマットの研修会を実施し、表出コミュニケーションや、意思決定支援についての理解を深めた。自閉症DVDや、ジョイントセミナーについては、複数回に分けて視聴会を実施し、多くの職員が視聴できるように努めた。

④やさしさあふれる地域を耕す

- ・新型コロナ禍で、地域のイベントは軒並み中止になったが、2回開催されたたかつき〇まるしえにはいずれも参加した。
- ・ポールウォーキングのハイキングイベントを10月、3月に計4回実施し、ふれいすBeも参加した。

⑤健全でタフな財務基盤の構築

- ・毎月の全体会議にて予算の進捗状況を確認した。
- ・強度行動障がい支援者養成研修には基礎研修3名、実践研修には3名が受講した。ただ、人員配置基準の要件を満たすことが厳しい状況のため、加算の拡充には至っていない。

6. ふれいすBe通所部門

(1) 令和2年度重要実施事項

①生涯にわたる地域での暮らしの実現

- i) 地域の中で行う日中活動を検討する為のプロジェクト会議を発足する。
- ii) なさはらもとまち一番館開設に伴いGHとの連携を更に深め、地域での生活をサポートする。そのために、定期的ミーティングを設定する。

iii) 喀痰吸引等 2 号研修の現地研修を終え、支援員によるケアの実施と拡充を進める。また、新たに喀痰吸引等ができる支援員の育成を行う。

②人権を守る砦となる

i) PECS などの手法を用いて、意思表出の支援を推進する。また、選択場面を設定するなどして日常的に意思を表出する機会の設定を意図的に行う。

ii) 権利擁護・虐待防止に関する内部研修を開催する。

③働く人のチャレンジと成長を支える組織

i) 年間研修計画を立案し、進捗管理を行いながら計画を推し進める。また、事業所内でフィードバック研修を開催し、学んだ事を共有できる機会を創出する。

ii) チーム間の交流研修を行う。

iii) 新入職員に対するメンター制度を導入する。

④やさしさあふれる地域を耕す

i) カフェをギャラリーやコンサート会場などとして提供し(有料)、地域の方々や学生などに事業所の事を知っていただく機会を創出する。また、大学などにその旨を情報発信していく。

ii) 余暇活動でより積極的に地域の社会資源を活用し、ご利用者のことを知っていただく。

⑤健全でタフな財務基盤の構築

i) 利用率の向上により増収を図る。また、就労継続支援 B 型の報酬単価をアップ目指し、まずは工賃平均額を 15,000 円に近づける。

ii) 今後の建物修繕や補修、機器の入れ替え等を検討するために、二井先生や家族会と協力して、「(仮称)建物調査委員会」を立ち上げる。

(2) 令和 2 年度の取り組み内容と評価

①生涯にわたる地域での暮らしの実現

i) コロナ禍であった為、今年度の実施には至らなかったが、プロジェクトリーダーを選出し、各チームの作業や活動について現状把握を行った。次年度は具体的にアクションを起こしたい。

ii) 今年度新規に入所されたご利用者に関して、ご家族、あんだんて、GH、Be、ヘルパー事業所と共に会議を持ち、情報共有を行った。次年度は、ZOOM を活用し、定期的に会議を開催できる環境を整えたい。

iii) 喀痰吸引 2 号研修の現地研修を 1 名が修了した。新たに 3 号研修を 2 名受講した。次年度は 3 号研修の現地研修を行う。

②人権を守る砦となる

i) 作業選択、余暇選択の場面において、PECS などの手法を用いた意思表出支援を実施した。次年度は、新たに 2 名のスタッフが PECS の研修を受講予定となっており、重症心身障害のご利用者へも取り組みを広げていきたい。

ii) e ラーニングのコンテンツを活用して権利擁護研修を実施した。その際にグループワークも行い、ご利用者に対する接し方などについての振り返りを行った。

次年度は、外部講師を招いて研修を実施したい。

7. 地域生活支援部たかつき

(1) 令和2年度重要実施事項

①生涯にわたる地域での暮らしの実現

- i) もとまちの完全開所を実現する。早期に生活が安定することを目標に、毎週会議を行い、丁寧な支援と対応の統一につなげる。
- ii) なさはらは、評価の強化（特に家事スキル）を行うこと、事故対応のスキルを強化すること、連携の強化を図ることに注力し、ご利用者の安全で豊かな生活につなげる。
- iii) 2丁目は地域開拓を行い余暇の充実を図る。ホーム内では4Sを推進する。
- iv) ご利用者の高齢化に向けた準備と、救急対応、災害対策等の研修受講や準備を行う。

②人権を守る砦となる

- i) 全ての事業所で「表出コミュニケーション支援」を推進する。
- ii) ご利用者の「意思」を支援計画に盛り込むため「意思決定支援会議」を推進する。
- iii) 法人のクレドや事業所の基本理念を大切に人権意識を強化した支援を行う。

③働く人のチャレンジと成長を支える組織

- i) 個別研修計画を策定し、職員の「学びたい」を活かした外部研修、交流研修等の参加を推進する。
- ii) ミーティングの強化を行い、効率的かつ実行に移せる会議を行う。ITCの活用も検討する。
- iii) 人の確保に注力し、安定的な支援の遂行と、職員の負担軽減を図る。
- iv) ホーム間の連携や交流を図る。

④地域での全ての人たちから信頼・必要とされる法人

- i) 「利用者の豊かな暮らしの実現」を目的に、地域資源の開拓と、地域への情報発信を行う。
- ii) 地域に知っていただくこと、地域貢献を目的に、当事業所の持っている知識資源、ノウハウを地域に還元し、出前講座、コンサルテーション等も実施していく。

⑤健全でタフな財務基盤の構築

- i) なさはら、もとまちは、早期に新規利用者を迎えること、週末の利用率の向上を図り。収入確保に努める。
- ii) ランニングコストを把握し、契約の見直しを検討するなど、固定費の削減を進める。
- iii) 外部講師や重度知的障がいを対象としたGH開設、運営コンサルを行う等、収入確保に努める。

(2) 令和2年度の取り組み内容と評価

①生涯にわたる地域での暮らしの実現

- i) もとまちは令和3年4月に1番館の完全開所を行った。毎週ミーティングを実施することで対応の統一につながり、早期に生活の安定につながった。
- ii) なさはらでは家事スキルの評価を行い、家事スキルの向上を目指した支援、スキルを活かせる場面を増やしている。
- iii) 2丁目は地域での余暇支援を掲げたが、コロナ禍ということで、他法人のガイドヘルパーを利用した余暇支援が中心となり、地域資源の拡大にはつながらなかった。
- iv) 高齢化に向け、救急救命講習の受講やICTの導入により連絡体制を整備するなどを行った。コロナ禍ではあったが、救急救命講習の参加を促進することが出来た。ICTの活用では、なさはらで「ハングアウト」という機能を活用し、事業所内での報連相に活用するなど、迅速な情報共有や対応につながった。

②人権を守る砦となる

- i) なさはらではPECSに加えて、トーキングマットの研修に参加し、実際に取り組みを開始している。トーキングマットの使用では「意思確認」の支援の拡大につながっている。もとまちでもPECSの取り組みを開始した。
- ii) 各事業所の内部研修で人権研修を実施した。コロナ禍ということもあり「意思決定支援会議」までは実施できなかったが、通所先との連携会議において「意思の尊重」を意識して会議を行った。
- iii) なさはらでは「なさはら基本理念」をどの程度意識して支援を行っているかのコンテストを実施した。もとまちでは「もとまち基本理念」が完成し今後の支援に活かす段階になっている。

③働く人のチャレンジと成長を支える組織

- i) 個別研修計画について、なさはらは、かなり意識して、研修参加につながることが出来たが、もとまち、2丁目については、コロナ禍ということもあり、計画通りに遂行出来なかった。
- ii) ZOOMによるオンライン会議を実施することで、コロナ対策だけでなく、時間の効率化や逆に参加しやすくなるなど、新たな可能性につながった。
- iii) 非常勤スタッフの確保が難しい状況もあり、厳しい体制が続いた。年度をまたいで、新人の常勤スタッフの加入を待つことになったしまった。非常勤スタッフの確保が難しいことから、常勤スタッフを中心とした体制にシフトしていく必要を感じる年度となった。
- iv) 内部研修についてはホーム間で横断的に参加するなど活発に実施することが出来た。た体制が厳しいこともあり、ヘルプなどの応援体制についてもホーム間で実施することが出来た。

④地域での全ての人たちから信頼・必要とされる法人

- i) コロナ禍で地域に出る取り組みは難しかったが、入口付近の花壇を整備するこ

とや、夜間のイルミネーション等で地域の方に知っていただいたり、お声掛けをいただくなどの取り組みが出来た。またそのような取り組みを facebook にて発信することも出来た。

- ii) 高槻事業所連絡会では 2 ヶ月に 1 回グループホーム部会の部会長として参加し、中心となって進めることが出来た。コロナ対策では、高槻市と「高槻市内居住系事業所」との意見交換会の開催につながるなど、地域貢献につながる事が出来た。実際にコンサルテーションなどの依頼もあった。

⑤健全でタフな財務基盤の構築

- i) もとまちでは 9 月から、なさはらは 11 月から、新規ご利用者を迎えることが出来た。その後は安定した利用率に繋がっている。もとまちは完全開所したうえで利用率も高く推移しており、当初予算よりも収支の改善につながった。
- ii) コロナ禍における日用品、衛生用品、防護用品などが懸念されたが、行政からの補助金や、後援会から、防護服をいただくなど、ご協力により補填できた。
- iii) コロナ禍においても、大阪府主催のサビ管研修、強行研修、GH 世話人研修等の講師やファシリテーターの派遣を積極的に行い、年間約 80 万円の収入につながった。

8. 地域医療支援部

(1) 令和 2 年度重要実施事項

- ①利用者の望む暮らしの明確化
- ②インフォームドコンセント（利用者同意の推進）
- ③全体ミーティングと定期的管理者・職員間の面談
- ④エビデンスベースの支援：科学的根拠・経験・利用者意思に基づく
- ⑤財務基盤の整備：業務効率化・役割明確化・訪問件数・収支の見える化

(2) 令和 2 年度の取り組み内容

- ①、② 3 か月に一回看護師が訪問し冰山モデルシートで課題・望む暮らしを明確化した。
- ③毎週の全体ミーティングを行った。月一回程度の管理者・職員間面談は未実施。
- ④構造化・PECS の推進をした。冰山シート（モニタリング用紙）への同意を一部行った。
- ⑤財務状況の説明。記録システムの変更をした。

また、訪問数確保に努め収入は昨年度比 2.5 倍に。事務費・事業費等費用抑制にも努めた。業務の効率化のために新システムを購入し導入した。

9. アクトおおさか

(1) 令和 2 年度重要実施事項

- ① 生涯にわたる地域での暮らしの実現
 - i) 発達障がい者地域支援マネージャー事業の実施
 - a) 自立支援協議会等へ参画し市町村の相談機能と連携を図り、身近な地域での発達障がい支援体制整備を目指す。

- b) 令和2年度が5ヶ年事業の最終年度にあたるため、効果検証を実施し、次の事業の提案につなげる。
 - ii) 家族支援の充実を図る。
 - a) 大阪府発達障害団体ネットワークへの参加、ペアレント・メンター事業の実施、ペアレント・トレーニング実施市町村のフォローアップ等の事業通じて家族支援の充実を図る。
 - b) ペアレント・メンター事業について、活動メンターにアンケートを実施する。
 - iii) 行政、福祉、保健・医療、司法、教育機関との組織的な連携強化を目指し、発達障がい者支援センター連絡協議会を継続実施する
 - a) 連絡協議会を年2回開催し、関係機関と発達障がい支援に関する最新の状況を共有するとともに支援ネットワークの構築を図る。
 - iv) 大阪府発達障がい児者支援体制整備検討部会などでの施策提言
 - a) アクトおおさかへの相談で寄せられる府内の発達障がいの支援ニーズを把握し、発達障がい支援に関する大阪府の政策提言につなげる。
 - ② 人権を守る砦となる
 - (1) 発達障害者支援センター事業の継続
 - i) 発達障害者支援センター事業を通じて、これまで制度のはざままで十分なサービスを受けてこられなかった人たちへの質の高いサービスを創造していく。
 - ii) 地域の支援機関との連携。
 - iii) 既存のサービスにつながりにくい人たちへの支援のあり方を継続して検討する。
 - ③ 働く人のチャレンジと成長を支える組織
 - i) 外部SVも活用し、事業に関するスーパーバイズを受けることで職員のスキルアップを図る。
 - ii) アクトおおさかでの法人内職員実習の継続。
 - ④ やさしさあふれる地域を耕す
 - i) 公開講座を実施し発達障がいに関する普及啓発に努める。
 - ii) 公認心理師実習の実習生を受け入れる。
 - ⑤ 健全でタフな財務基盤の構築
 - i) ランニングコスト、固定費などを見直し、経費削減を図る。
- (2) 令和2年度の取り組み内容と評価
- ①-i)-a)

大阪府発達障がい者地域支援マネージャー事業に関して、令和2年度は8市町村から事業活用の申し込みがあり事業を実施した。オンライン研修など感染症対策に配慮しながら事業を実施した。事業を通じて市町村の基幹相談支援センターや相談支援機能と連携を図った。
 - ①-i)-b)

事業の効果検証として、事業実施後のアンケートや市町村や支援者を交えた振り返りの内容などをまとめている。その結果、地域での支援機関や行政との連携や支援者育成に特に効

果があった。検証結果については大阪府とも共有した。また、検証内容については、発達障害者地域支援マネージャー全国大会でも実践報告した。

①-ii)-a)

大阪府発達障害団体ネットワークは事務局として参加する。ペアレント・メンター事業は13件の派遣を実施した。感染症拡大を受けて活動を中止する市町村もあり、例年より派遣数は減少している。

①-ii)-b)

66名の登録メンターにアンケートを実施し45名の回答があった。回答結果は集約し、ペアレント・メンター運営委員会や交流会で報告し、今年度の事業運営に反映させている。

①-iii)-a)

連絡協議会に関して、感染症の拡大を受けて1回目は書面開催とし、関係機関に事業内容等のアンケートを実施し、結果を集約して書面にて共有した。2回目は就労をテーマにオンライン形式で実施する。大阪市障がい者就業・生活支援センター 所長 前野 哲也氏に障がい者就業・生活支援センターの支役割についてお話いただき、その内容を踏まえ、関係機関と意見交換を実施した。

①-iv)

令和2年度大阪府発達障がい児者地域支援体制整備検討部会、前出部会の成人ワーキング、子どもワーキングの委員として参加した。大阪府第5次障がい福祉計画についての政策提言を行った。

②-i) ii) iii)

相談支援、就労支援として以下の件数の相談があった。相談の中には診断のないケースも4割程度あり、相談先のないケースなどもあった。また、触法ケースや企業からの相談もあった。地域の関係機関と連携して支援を実施している。

相談支援：延べ889件 実人数 709人 機関支援 86件

就労支援：延べ282件 実人数 115人 機関支援 74件 (2021.2.18時点 未集計)

③-i)

大阪府発達障がい者地域支援マネージャー事業の効果測定に関して鳴門教育大学の小倉正義氏にスーパーバイズを受ける。また、発達障がいの方への就労支援の現状についてクロスジョブ代表濱田和秀氏にスーパーバイズを受ける。外部のスーパーバイズを受けることで職員の知見も広がりスキルアップにもつながった。

③-ii)

今年度は感染症拡大もあり、受け入れを実施せず。

④-i)

1月9日に支援者向け公開講座として「発達障がいの特性から就労支援を考える」をテーマに早稲田大学の梅永雄二氏にお話しをいただいた。オンライン形式で実施し、318名の申し込みがあった。

3月13日に府民向け公開講座として「自分らしく働き続けるカギを知る」をテーマにNPO法人DDAC代表の広野ゆい氏にお話しをいただいた。

④- ii)

武庫川女子大学大学院から1名の実習生を受け入れる。

⑤- i)

今年度は感染症拡大を受け職員の移動が少なくアウトリーチ交通費の支出が減った。

10. あんだんて

(1) 令和2年度重要実施事項

①生涯にわたる地域での暮らしの実現

i) 福祉サービス利用の有無に関わらず、必要な支援を受けながら可能な限り住み慣れた地域で暮らしていけるよう支援する。

ii) ライフステージに合わせた支援ができるよう取り組む。

②人権を守る砦となる

i) 制度にとらわれることなく、クライアントにとって必要な支援が適切に提供されるよう、行政や事業所に対して積極的に働きかけをおこなう。

ii) 支援者主体ではなく、あくまでも本人主体の視点で支援をおこなう。

③働く人のチャレンジと成長を支える組織

i) 新人職員用のプログラムを開発し、スムーズな業務理解と人材育成を進める。

ii) 職員のスキルアップとあんだんてでの取り組みを広げるため、外部に向けての実践報告をおこなう。

④やさしさあふれる地域を耕す

i) 地域の受け皿を広げるため、外部向けの勉強会を開催し、質の高い相談支援や利用者支援の在り方を広める。

ii) 高槻市内外の相談支援事業所や行政との連携を引き続き密に持ち、障害福祉の向上に寄与する。

⑤健全でタフな財務基盤の構築

i) 引き続き、業務の効率化を図り、質を維持しながらもモニタリングの請求を着実に実行し、収入確保に努める。

ii) 高槻市の委託契約費の適正化と見直しを求める。

(2) 令和2年度の取り組み内容と評価

①- i)

福祉手帳または福祉サービスの利用などに繋がっていない、サービス等利用計画の契約がないケースの「委託相談」は54件継続中。今期末時点で新規相談受付は37件。定期的な面談や訪問、電話などで支援を通じて地域で暮らせるようヒヤリングしたりして社会資源を見つけ支援中。

①- ii)

グループホームへの移行と定着の支援など実践。(大きな変化のあるケース5件進行中)。独居で将来に不安を抱えるご家族のためにGH見学ツアーを実施。

②- i)

65歳を過ぎてもこれまでと同じサービス利用が継続できるよう、ご家族ご本人と共に障害福祉課と連携。自立支援との併給のハードルとなっていた区分や障害程度などの条件を乗り越える結果となり、「障害/介護の移行問題」について一石を投じる前例となった

②－ii)

ご本人のニーズを丁寧にアセスメントしながら支援を実施している。

③－i) ii)

4月入職の相談員は、相談支援従事者初任者研修を受講し9月に相談支援専門員として登録完了した。実践報告会については感染症の拡大を受け実施せず。

④－i)

JJよど家族会向けの勉強会を実施し7名が参加。「暮らす」をテーマに福祉制度や相談支援の活用について具体的な事例を交え講義を行った。

④－ii)

高槻市相談支援事業所連携会議をzoomで開催。就労・生活支援センターとの2か月毎の連携会議を実施。また、市内相談支援事業所からの支援ノウハウに関する問い合わせにも応じることで、地域全体の相談支援力を高めるため連携。さらに、新たにChatworkの活用を提案導入し、活発な意見交換がオンタイムで取り交わせるようにした。

⑤－i)

昨年度の収入実践を分析し、デジタル化した帳票を活用し収益を意識しながら積極的なモニタリングを実施。前期については自立支援費（計画相談）は前年比10%アップの目標を達成。状況をさらに改善するために、ICTの導入（福祉ソフト）を検討している。継続した加算取得を目指して、体制加算の算定要件を満たす研修を受講する。・医療的ケア児等支援者養成研修を受講中。年末には3つ全ての体制加算の算定要件を満たす予定。

⑤－ii)

委託業務と計画業務の整理を行い、分析や集計を文書でまとめ、委託契約費の適正化を求める根拠となるように準備を進めている。

11. wish

(1) 令和2年度重要実施事項

①生涯にわたる地域での暮らしの実現

i) 相談のニーズから地域課題を抽出し、自立支援協議会への提言をし、住みやすい街づくりに向けて市と他機関と一緒に検討を図る。

ii) 地域共生社会の実現に向けて、顔の見えるネットワーク作り、社会資源の開発を行う。

②人権を守る砦となる

i) 計画や担当者会議等に児童ご本人の意思を反映していけるよう面談等での聞き取りや会議へ参画をしてもらう機会の実施。

ii) 虐待防止・権利擁護の観点から、クレドを浸透させることを目的に、引き続きeラーニングの視聴や行動振り返りチェックリストなどを実施する。

③ 働く人のチャレンジと成長を支える組織

- i) 相談支援を担える人材育成に向けて法人内へ発信し仕組み作りを検討する。
- ii) 個人の研修計画の立案、事業所内で SWOT 分析を行い、働きやすい環境作りを目指す。

④ やさしさあふれる地域を耕す

- i) 地域への啓発や、社会資源を開拓する。

⑤ 健全でタフな財務基盤の構築

- i) 令和 3 年の報酬改定の情報収集を行い、先を見越した収入の安定に向けて予算管理を行い、赤字脱却にむけて検討を図る。

(2) 令和 2 年度の取り組み内容と評価

①－ i)

・自立支援協議会ケアマネジメント連絡会の研修チームのリーダーとして、研修の企画を行った。コロナ緊急事態宣言のため、今年度開催は延期となった。こどもワーキングでは通学支援の検討、高槻市の障がい児者基本計画及び福祉計画の策定ワーキングのメンバーとしても参画し提言した。

①－ ii)

児童の委託相談事業所と検討する場をもち、福祉相談支援課とも協議の場をもった。

②－ i) ii)

クレドと職員行動チェックの振り返りを 9 月に実施。呼称問題については情報共有を行っているが、今後も権利擁護が浸透していけるよう引き続き研修を実施していく。

③－ i)

個人の研修計画にそって、外部研修の受講等は進めた。

③－ ii)

法人内への発信については、検討するまで至らなかった。

④－ i)

コロナの影響もあり、社会資源の開拓は未実施である。講師派遣等で発達障がいの研修を行った。

⑤－ i)

計画相談において新規契約者を 13 名追加した。受給者証更新をされない方もいたため、計画相談の受け皿数の伸び率はあがらなかった。障がい福祉サービス等事業外で講師派遣等での収入を得て、赤字幅は下げることはできた。

1 2. 地域生活支援部よど

(1) 令和 2 年度重要実施事項

①生涯にわたる地域での暮らしの実現

- i) 十三地域のグループホームの開設と運営に注力する。
- ii) 生活介護事業のサービスの質の向上を目指す（ジョブサイトよど）。
- iii) 平均工賃 1 万円を継続する（ジェイ・ブランチャよど）。

②人権を守る砦となる

- i) PECS における表出コミュニケーション支援をおこなう。
 - ii) リスクマネジメントの意識を高める。
 - iii) 虐待防止の意識を高める。
 - ③働く人のチャレンジと成長を支える組織
 - i) 研修計画を立てる。
 - ii) 職員の個別面談の実施。
 - iii) 職員間のコミュニケーションを図る。
 - ④やさしさあふれる地域を耕す
 - i) よど祭りを通して地域への啓発活動をおこなう。
 - ii) 地域への会合に参加する。
 - iii) 地域のイベントにコロッケ外販等で参加して地域交流をおこなう。
 - ⑤健全でタフな財務基盤の構築
 - i) 収支や定員充足率を毎月全体共有しグループごとに経費管理をおこなう。
 - ii) サービス管理責任者、強度行動障害支援者養成研修に最低 2 名は参加する。
 - iii) 定員充足率を上げる。
- (2) 令和 2 年度の取り組み内容と評価
- ①生涯にわたる地域での暮らしの実現
 - i) 開設準備室を立ち上げ、9 月の GH 開設に向けた取り組みを進めた。しかし嘱託職員ならびに非常勤職員の確保が難航し、9 月時点では 1 階（4 名）のみの開設に留まった。11 月に 2 階（2 名）を開設したが、3 階（4 名）の開設は次年度へ持ち越しとなり、運営上も大幅な見直しが必要となった。
 - ii) 当初は余暇活動や社会参加の拡充を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大により屋外での活動は大幅に縮小する形を取らざるを得なかった。個別支援計画書について現場スタッフ間で検討をおこない、新様式を完成させた。
 - iii) 新型コロナウイルスの影響を大きく受け、施設外就労先 2 か所との契約が終了となり、また受注作業の量も大幅に減少した。受注量については回復してきたが、低単価の作業のため工賃向上には至らず平均工賃 1 万円は達成できなかった。今後の事業開拓が大きな課題となっている。
 - ②人権を守る砦となる
 - i) 各事業所において PECS の取り組みを引き続き継続した。
 - ii) ヒヤリハット、事故報告書から必要な対策を講じた。特に重大リスクが懸念される事柄については検討の機会を設けて、事業所全体での取り組みや対策を図った。
 - iii) 人権研修を開催し職員の意識向上に努めた。また権利擁護虐待防止委員会において事業所でのグレーゾーンと考えられる対応を報告し、各委員より意見をいただきながら改善を図った。
 - ③働く人のチャレンジと成長を支える組織

- i) 正職員については個人研修計画の立案を進めた。計画書の作成までは完了したが、振り返りと評価が不十分であったため適切な運用には至らなかった。次年度については計画書の見直しをおこない、改めて実施する予定である。
- ii) 3 か月ごとに管理職と正職員の個別面談を設けた。また嘱託職員やパート職員についても、各担当職員が個別面談の機会を設けた。その他必要に応じて面談や打ち合わせの機会を随時設けた。次年度からは面談の頻度や面談者を見直しながらか引き続き定期的な個別面談を継続させていく予定である。
- iii) 今年度よりメンター制度を採り入れ、入職3年目の職員をメンター、2年目の職員をメンティーとして設定した。1~2 か月毎にメンタリングをおこない、メンター・メンティー双方の成長とサポートに繋がった。次年度以降も1~2年目の職員をメンティーとし、それぞれにメンターをつけることにしている。

④やさしさあふれる地域を耕す

- i) 新型コロナウイルス感染拡大を危惧し、今年度のよど祭りの開催は中止し、通常の土曜開所日に切り替えた。感染拡大のリスクは今も収まらず、次年度の開催も難しい状況かと思われる。
- ii) 新型コロナウイルスの影響により開催されなかったことも多かったが、淀川区の自立支援協議会や自治会等で構成する十三地域活動協議会に部長が定期的に参加した。年末の自治会による夜警時には休憩場所としてジョブサイトよどを提供した。
- iii) 新型コロナウイルスの影響によりイベントが軒並み中止となり、今年度はコロケを外販する機会がなかった。販路開拓が大きな課題となっているが、まだまだ感染拡大の影響は避けられそうにない状況である。

⑤健全でタフな財務基盤の構築

- i) 毎月の会議において、ジョブサイトよど、ジェイ・ブランチよどそれぞれの月次収支と定員充足率を職員間に共有した。
- ii) 部全体として、サービス管理責任者研修については、基礎研修に1名、更新研修に3名、強度行動障害支援者養成研修には基礎研修に3名、実践研修に1名、行動援護従事者養成研修には3名が参加した。
- iii) ジョブサイトよどではご利用者1名が死去、新型コロナウイルスの影響により2名が退所された。ジェイ・ブランチよどでも1名が就労継続支援A型事業所へ移行された。また両事業所において自主的に利用自粛される方も複数名おられた。レジデンスよど三津屋北ホームについては2階、3階の開設が遅れたこともあり、3事業所とも定員充足率を高めることはできなかった。

13. 就労支援部

(1) 令和元年度重要実施事項

①ジョブジョイントおおさか

- i). 生涯にわたる地域での暮らしの実現
 - ・就労移行支援の新規利用者集めを最優先事項として取り組む。
 - ・令和2年4月より就労準備訓練を「コース別プログラム」に更新する。
(プログラム重点テーマを「自己肯定感」「知的障害を伴う人の就労支援」とする)
- ii). 人権を守る砦となる
 - ・利用者、就職者の満足度調査を定期的実施し、web サイト等で情報公開する。
- iii). 働く人のチャレンジと成長を支える組織
 - ・スタッフニーズをもとにeラーニングや内部研修等の定期的な研修を実施する。
- iv). やさしさあふれる地域を耕す
 - ・ジョブマッチングの質を意識した就職支援を目指す。(目標数、就職者：15名)
 - ・就職者の定着支援において、今後の在り方検討会を行なう。
 - ・「地域連携」をテーマにweb や地域向け広報誌発行など定期的に情報発信する。
- v). 健全でタフな財務基盤の構築
 - ・ケアコラボ活用等による業務効率とペーパーレスの取り組みを推進する。

②LaLa-chocolat TAKATSUKI

生涯にわたる地域での暮らしの実現

- (i) 事業所の方針の整理し全スタッフで共有する
- (ii) 工賃の安定的な支給
- (iii) 生産活動以外の活動の充実(働くモチベーション、働きがいの向上を目指す)

人権を守る砦となる

- (i) 権利擁護・虐待防止セルフチェックの定期的な実施

働く人のチャレンジと成長を支える組織

- (i) 人材育成のための外部講師等を活用した内部研修の実施

やさしさあふれる地域を耕す

- (i) 地域のお客様への還元

健全でタフな財務基盤の構築

- (i) 定員充足率の向上
- (ii) 年間の総売上 2200 万円を維持する。

(2) 令和元年度の取り組み内容と評価

①ジョブジョイントおおさか

- i) 4月より「コース別プログラム」にリニューアルし、利用者の方にとってプログラム内容や就活等の進め方が分かりやすくなるよう取り組んだ。現在の利用者の方や見学に来られたご本人・ご家族からは「分かりやすい」とご意見いただくことも多く、一定の成果があったと思われる。ただ、就職支援においては11名の就職(前年比47%)の実績となり、コロナ禍の影響で就職活動の支援は大変苦しい一年であった。

また、大学生の就活支援プログラムである「働くチカラ PROJECT」は、就活のスキルの第一回目をオンラインで開催した以外は、基本的に会場でリアル開催を行い、

できるだけ予定通りのプログラムを実施できるよう努めた。夏のインターンシップにおいては、コロナ禍で受入れ企業を探すことが難しかったが、開催内容を 1Day 企業見学に変更し、結果的には学生の満足度も高い中で実施することができた。

- ii) 春の緊急事態宣言の後、利用者の方とご家族に満足度調査（実施期間:6月11日～7月10日）を実施し、コロナ対策やコース別プログラムの内容などについてご意見を伺った。回答率は 42.6%となり、緊急事態宣言中の運営・対応に対する満足度では 71.9%の利用者の方が「大変よい」「よい」の回答をされていた。また、ご家族にも同じ質問で満足度調査（回答率:52%）しており、84.6%の方が「大変よい」「よい」の回答されていた。
- iii) コロナ禍で会場でのリアルな研修参加は難しくなったが、熱心なスタッフは自分で研修会を見つけ、オンライン参加を積極的に取り組んでいた。また、月1回の中山清司さんによる SV は継続実施していただき、SV の助言は利用者の方のケース記録に書き込むことで全スタッフに周知して進めることができていた。
- iv) 就職先を探す企業開拓の取り組みは、コロナ禍の影響もあって苦しい一年であった。ただ、そんな中でもスタッフ自ら電話かけを積極的に行い、介護や病院など非営利系を中心に新たな出会いが多かったのは大きな収穫であった。それでも、体験実習や雇用前実習の機会が少なくなり、就職実績は 11 名であった。
大学との連携では、関西大学と龍谷大学において学生さんに向けた学内セミナーを開催し、就活や社会人に必要なことを伝える機会をいただき、2校との密な大学連携を行うことができた。
- v) 利用者の方のケース記録を入力する ICT システム「ケアラボ」は、平成 30 年より利用開始し、全スタッフも少しずつシステムに慣れるようになってきた。効果としては、紙で記録することが減ったためにペーパーレスにつながり、印刷代はかなり軽減されている。また、検索機能で過去の記録をすぐに見ることができたり、産休前スタッフの在宅勤務にも柔軟に対応できたのは利用効果としては大きかった。

②LaLa-chocolat TAKATSUKI

生涯にわたる地域での暮らしの実現

- (i) 今年度はスタッフの入れ替わりも多く、事業所の方針について検討し整理する時間を取ることが難しかった。来年度スタート時に話し合う時間を取り、スタッフ間で共有を図っていきたい。
- (ii) 工賃支給の見直しについては、検討を進めたが、実際に変更するまでには至らなかった。新工賃規程の施工は来年度からになるが、支給額の格差の是正、評価の仕組みの見直しなどを図ることができたので、運用をしながらモニタリングを行っていく。

ステップの収入アップについては、十分な額とは言えないが、新規の内職作業を 2 つ確保することができた。今後、安定的に受託できるように進めていきたい。施設外作業の開拓については、来年度引き続き取り組んでいく。店舗の売

上向上については、新型コロナウイルスの影響を受けた4月・5月・1月以外は前年比を上回ることができた。

- (iii) 生産活動以外の活動の充実（働くモチベーション、働きがいの向上を目指す）
今年度は作業活動以外の活動提供は例年通りのレクリエーション以外は特に実施できなかった。ニーズ調査アンケートを実施したため、来年度に活かしていきたい。

人権を守る砦となる

- (i) 権利擁護・虐待防止セルフチェックを1度行った。

働く人のチャレンジと成長を支える組織

- (i) 内部研修を定期的に行うことができなかったため、来年度は計画通りに実施したい。

やさしさあふれる地域を耕す

- (i) 店舗の5周年記念のイベントでは、例年以上のお客様にご来店いただくことができ、売り上げも前年度比約180%だった。例年通り、DMをお送りするなど会員顧客へのサービスを実施することができた。

健全でタフな財務基盤の構築

- (i) 今年度から新規で通所された3名のご利用者に安定的に通所いただくことができた。今年度は数名の見学希望はあったものの、実習希望者がおらず、年度途中からの新規利用者の受け入れには至らなかった。
- (ii) 年間の総売上は約2200万だった。

14. 児童発達支援部

【高槻地区】

(1) 令和2年度重要実施事項

1. 生涯にわたる地域での暮らしの実現

- (1) グループ療育の継続実施と、ニーズの開発を行う
- (2) 高学年の受け入れにより、年齢層の幅を広げ、必要な支援を提供する。また、拠点事業として、大阪府・アクトおおさかと連携し、拠点の位置づけや発達障がい児の体制整備に向けて検討を図る。
- (3) 家庭訪問を実施し、家庭支援へのアプローチを行う（will）

2. 人権を守る砦となる

- (1) 表出コミュニケーション支援において、PECSの手法を用いた支援方法を継続し、マスター職員の育成を図る。表出コミュニケーションの評価方法についても、地区内での研修を通して学ぶ機会を持つ。
- (2) 虐待防止・権利擁護の観点から、クレドを浸透させることを目的に、引き続きe-ラーニングの視聴や行動振り返りチェックリストなどを実施する。

3. 働く人のチャレンジと成長を支える組織

- (1) 研修計画・SV面談を通して、職員の将来ビジョンを確認し、体系的な人材育成を

行う。

(2) 事業所内で SWOT 分析を行い、働きやすい環境作りを目指す。

(3) 全職員に向けた、柔軟な勤務形態を保証する。

4. やさしさあふれる地域を耕す

(1) 北河内圏域における市町村との連携を強固にし、市町村と連携した事業を展開する。

(2) 北河内圏域における公開講座の継続的实施。

(3) 北河内圏域における地域とのパイプ作りのため、情報収集を行う。

5. 健全でタフな財務基盤の構築

(1) 安定した収支の実現に向け、各市町村と連携し、利用児の確保に努める。

(2) 公開講座や実践交流会、事業所研修などで収入を確保する。

(2) 令和2年度の取り組み内容と評価

1. 生涯にわたる地域での暮らしの実現

(1) 高年齢児の個別療育の受け入れ (will:4~6年生 Link:4年生)

2. 人権を守る砦となる

(1) 門先生の SV を受講し、療育内での PECS の活用方法について学び、事業所内で共有した。

(2) 職員行動チェックリストを職員に実施し、行動の振り返りを行った。

3. 働く人のチャレンジと成長を支える組織

(1) 研修計画と SV 面談を実施し、職員一人ひとりのビジョンを確認した。

(2) will/Link で SWOT 分析を実施し、各事業所の現状把握と今後の見立てを職員全体で共有した。

4. やさしさあふれる地域を耕す

(1) 北河内圏域で公開講座を実施。新型コロナウイルスの影響で会場受講と web 開催を実施した。

5. 健全でタフな財務基盤の構築

(1) 高槻市と、今後の発達障がい児への支援を確立し、連携を深めるための協議の場を持った。

(2) 枚方市・交野市において、連携を深めるための協議の場を設けた。交野市においては、個別療育の定員を 3 名から 10 名に増員することができた (Link)

【大阪地区】

(1) 令和2年度重要実施事項

1. 生涯にわたる地域での暮らしの実現

(1) an・az 各 60 名へ専門療育を提供する

(2) anPASS0 を一体化し、幼児期から 18 歳までの切れ目のない支援を大阪地区で実施

2. 人権を守る砦となる。

(1) 人権意識の向上や虐待防止につなげるための組織的な仕組みづくりを行う

3. 働く人のチャレンジと成長を支える組織。

- (1) 部内研修や事業所交流の活性化
- (2) 職員の将来のビジョンを確認し、研修計画、個別の目標に基づく系統的な人材育成を図る
- 4. やさしさあふれる地域を耕す。
 - (1) 各地域の自立支援協議会や相談支援、その他関係機関との連携強化を目指す
 - (2) 公開講座を実施し、地域への啓発を継続する
- 5. 健全でタフな財務基盤の構築
 - (1) 2年後の大阪市との専門療育についての協議の中で、委託費について協議し必要な財源の確保を目指す
- (2) 令和2年度の取り組み内容と評価
 - 1. 生涯にわたる地域での暮らしの実現
 - (1) an・az でそれぞれ60名へ専門療育を提供し、毎月の利用率90%以上を維持した
 - (2) PASSO については令和3年3月で個別療育の形態を終了し、法人内で今後の中高校生支援の在り方について再検討する事になった
 - 2. 人権を守る砦となる
 - (1) PECS ワークショップを受講し、事業所内でのSVを受けた
 - (2) スタッフ会議や地区会議で虐待・ひやりはっとの件数を共有した。クレドチェック表、職員行動チェックリストをもとに事業所および地区会議でふりかえりを行った。
 - 3. 働く人のチャレンジと成長を支える組織
 - (1) あゆみやJJと事業所間交流研修を行った
 - (2) PECS レベル1 ワークショップを3名が受講した
 - 4. やさしさあふれる地域を耕す
 - (1) 各地域の相談支援事業所と積極的に情報を共有した。虐待ケースなどを中心に担当者会議に参加した。
 - (2) 9月にオフィス bon と合同の公開講座を実施した
 - 5. 健全でタフな財務基盤の構築
 - (1) 収支の進捗管理を部や地区会議で行い、収支改善や人員配置について検討した
 - (2) 療育を振替実施し、毎月の利用率平均 an 94%、az 95%を達成した

【発達支援あゆみ】

- (1) 令和2年度重要実施事項
 - 1. 生涯にわたる地域での暮らしの実現
 - (1) 単独通所事業のスムーズな開始
 - 2. 人権を守る砦となる
 - (1) 人権意識の向上や虐待防止につなげるための仕組みを作る
 - 3. 働く人のチャレンジと成長を支える組織
 - (1) 部内研修や事業所交流の活性化
 - (2) 職員の将来のビジョンを確認し、研修計画、個別の目標に基づいた人材育成

4. やさしさあふれる地域を耕す

(1) 定例会議等を活用し、豊中市児童発達支援センターとの連携をより強化する

5. 健全でタフな財務基盤の構築

(1) 3事業開始しての事業費・事務費・人件費等についての把握に努める

(2) 令和2年度の取り組み内容と評価

1. 生涯にわたる地域での暮らしの実現

(1) 豊中市がこれまで積み重ねてこられた強みを残しつつ、私たちの法人の強み（個別支援・家族支援）を活かした事業内容について、職員全体で検討し、また、市と共有しながら事業実施を進めた。

(2) 新型コロナウイルスの影響により中止となっていた親子行事を10月からは2クラスずつ2回に分けるなど工夫しながら実施した。

(3) 会議体制を見直し、主担会議・正職員会議・ケース会議などに分けて実施した。

2. 人権を守る砦となる

(1) クレド、職員行動チェックリストを実施した。

(2) ひやりはっと報告書、事故報告書を使用してその都度職員間で共有し対策を講じた。

(3) ご利用者の意思決定の機会を増やし、表出コミュニケーション支援に取り組んだ。

3. 働く人のチャレンジと成長を支える組織

(1) 経験者（中途採用正職員・嘱託職員）に対し、ペアレントプログラム研修会を実施。

(2) 法人内の事業所への見学や実習を実施。（ぶれいす Be、an、az、PASSO、萩の杜）

(3) 法人内職員の見学や実習を、継続して積極的に受け入れた。

(4) 他法人の児童発達支援センター（単独通園事業）での実習を実施（高槻・うの花療育園、東大阪・はばたき園）。

(5) 全職員が PECS レベル1 ワークショップを受講し、事業所で PECS の取り組みを実践発表して、門真一郎先生から SV を受けた。

4. やさしさあふれる地域を耕す

(1) 月に1回、豊中市立児童発達支援センター・豊中市こども相談課との定例会議にて、現状の情報共有や今後に向けて意見交換等を実施した。

(2) 「豊中市子育て発達支援プログラム実施支援業務」を受託し、「ペアレントプログラム」「ペアレントトレーニング」について豊中市立児童発達支援センターと定期的に打ち合わせや振り返りを行い、サブリーダーを担いながら連携して事業を実施した。

5. 健全でタフな財務基盤の構築

(1) 資金収支計算書を確認し、各支出等について把握した。

(2) 委託料清算額を計算し、補正予算案を作成して把握した。

II. 各組織・事業の実施報告

1. 法人本部

(1) 理事評議員会

理	評	開催日	決 議 事 項	その他の
---	---	-----	---------	------

				事項
第126回		令和2年 5月28日	第1号議案 理事長報酬承認の件 第2号議案 諸規則、規定類の改正の件 第3号議案 令和元年度 事業報告承認の件 第4号議案 令和元年度 決算承認の件 第5号議案 令和元年度 監事監査報告の件 第6号議案 理事長職務執行状況の件 第7号議案 定款変更の件	新型コロナウィルスの為、 書面決議
	第67回	6月19日	第1号議案 定款変更の件 第2号議案 令和元年度 事業報告承認の件および令和2年度 事業計画報告の件 第3号議案 令和元年度 決算承認の件および令和2年度 予算報告の件 第4号議案 監事監査報告の件 第5号議案 役員等の報酬に関する規程の改正の件	
第127回		8月26日	第1号議案 諸規則、規程類の改正の件 第2号議案 理事長職務執行状況報告の件 第3号議案 事業計画進捗状況の件	
第128回		11月26日	第1号議案 定款変更の件 第2号議案 諸規則、規程類の改正の件 第3号議案 補正予算案の件 第4号議案 理事長職務執行状況報告の件 第5号議案 事業計画推進状況の件	役員改選案内と令和3年度5月理事会日程の報告
	第68回	12月16日	第1号議案 定款変更の件	
第129回		令和3年 3月29日	第1号議案 評議員候補推薦の件 第2号議案 法人組織再編の件 第3号議案 部長人事の件 第4号議案 諸規則、規程類の改正の件 第5号議案 令和3年度 事業計画(案)の件 第6号議案 令和3年度 予算(案)の件 第7号議案 定時評議員会開催の件 第8号議案 理事長職務執行状況報告の件	

(2) 職員定期健康診断

健診内容：35歳以上の社会保険加入者は「生活習慣病予防健診」を受診。

上記以外の職員は「一般健診」を受診。

【高槻地区事業所】

日程：令和2年10月1日から令和3年2月9日まで

場所：愛仁会 総合健康センター

健診対象者：週あたり20時間以上勤務の職員254名。

【十三地区事業所】

日程：令和2年10月1日から令和3年1月21日まで

場所：医療法人健昌会 淀川健康管理センター

健診対象者：週あたり20時間以上勤務の職員46名。

【自閉所療育センターLink】

日程：令和2年7月13日から9月23日まで

場所：医療法人 敬節クリニック

健診対象者：週あたり20時間以上勤務の職員5名。

【こども発達支援センターaz】

日程：令和2年9月24日から9月29日まで

場所：住吉民主診療所

健診対象者：週あたり20時間以上勤務の職員3名。

【アクトおおさか】

日程：令和2年10月2日から11月30日まで

場所：橘甲会 大阪予防医学健診センター

健診対象者：週あたり20時間以上勤務の職員7名。

【発達支援あゆみ】

日程：令和2年12月3日から12月25日まで

場所：千里LC健診センター

健診対象者：週あたり20時間以上勤務の職員16名。

(3) 高槻地域生活総合支援センター会議

①目的

i) 第4次中期計画の進捗管理

ii) 第4次中期計画前半3か年のモニタリングおよび後半2か年の計画策定

②構成メンバー（メインメンバー）

- | | |
|------------|---------------------|
| ・萩の杜 | 竹内恒（副施設長） |
| ・ジョブサイトひむろ | 森田耕平（施設長） |
| ・ふれいすBe | 松本理恵（施設長） |
| ・児童発達支援部 | 古東千鶴（課長） |
| ・地域生活支援部 | 伊名岡宏（副部長）、辻本紗弥（副部長） |
| ・地域医療支援部 | 徳光薫（管理者） |
| （サブメンバー） | |
| ・萩の杜 | 勝部（施設長） |

- ・ふれいす Be 奥平（施設長）
- ・地域生活支援部 平野（部長）
- ・地域医療支援部 小林（部長）

※令和元年度より、より現場の支援に近い、課長や副部長の皆さんによる会議の位置づけにシフトした。

③検討内容

i) 第4次中期計画の進捗管理

- ・4月～8月にかけては進捗管理を行なう。

ii) 第4次中期計画の4か年の振り返り

- ・12月～2月に4か年の振り返りを実施した。

iii) 法人課題の検討

- ・リスクマネジメント（事故報告様式の検討）

アクシデントレベルを検討した結果、事故の重要度によって、事業所内グループ単位、事業所単位、地区単位、法人全体で検討すべき内容に分けて、報告、検討すべきという意見でまとめ、書式を改定した。

(4) 大阪発達障害総合支援センター会議

①目的

大阪発達障がい総合支援センターの各事業所における管理運営についての協議

③ 構成メンバー

- ・アクトおおさか 山根 和史 岡 あゆみ
- ・ジョブサイトよど 下 裕幸 原田 智弘
- ・ジョブジョイントおおさか 星明 聡志
- ・児童発達支援部 新谷 沙弥香 市原 来美
- ・法人事業部 佐々木 寛昭

以上 8名

③検討内容

i) 第4次中期計画に基づく広域特化地区の進捗管理

- a.主任主体の研修検討と実施について
- b.人材育成とSV体制について
- c.第4次中期計画のモニタリングと計画修正について

ii) 十三地区のGHの立ち上げ準備について

iii) 事業所間交流について

iv) 自閉症啓発イベントについて

v) 新型コロナウイルス感染対策について

④令和3年度検討課題

- ・第4次中期計画の後期1か年の取り組み
- ・主任連携の強化と人材育成
- ・事業所間交流
- ・情報共有

(5) 医療連携推進室会議

①目的

法人の医療的課題の検討と対策についての協議

②構成メンバー

- ・訪問看護ステーション 小林 哲理
- ・萩の杜 勝部 真一郎
- ・ジョブサイトよど 下 裕幸
- ・ジョブサイトひむろ 森田 耕平
- ・ふれいす Be 奥平 健正
- ・レジデンスなさはら 平野 貴久
- ・法人事業部 佐々木 寛昭

以上 7名

③検討内容

- i) 真野先生との委託業務について
- ii) 複数入院体制について
- iii) 意思決定支援と医療同意について
- iv) 訪問看護について
- v) 新型コロナウイルス感染対策について
- vi) 看取りについて

④令和3年度検討課題

- ・真野先生と他の医療機関との協力体制の構築
- ・意思決定支援同意書の導入と複数入院体制の検討
- ・医療的ケアのしくみ作り
- ・重度高齢化に向けた検討
- ・医療職の働き方の検討
- ・新型コロナウイルス感染対策
- ・情報共有

(6) 権利擁護・虐待防止委員会

①目的

- ・第4次中期計画「人権を守る砦となる」の遂行
- ・2020年度権利擁護虐待防止計画（法人全体、各部）の遂行と進捗管理
- ・権利擁護虐待防止クレドの浸透
- ・クレド浸透のための啓発ポスターと名刺裏のデザインを依頼し、デザイン案から投票を実施。
- ・表出コミュニケーション支援の実施
- ・法人内で万が一虐待事案等が発生した場合の共有と意識の確認

②2020年度権利擁護虐待防止責任者および委員

部署名	責任者	委員
萩の杜	竹内 恒	勝部真一郎

レジデンスなさはら 2 丁目	井上裕加里	
レジデンスなさはら	伊名岡 宏	
レジデンスなさはらもとまち	辻本沙弥	
ジョブサイトひむろ	森田耕平	
ぶれいす Be	奥平健正	松本理恵
ジョブサイトよど・ジェイブ ランチよど	原田智弘 高木由香利 倉窪明子	下 裕幸
就労支援部	山田 優	星明聡志
児童発達支援部	松上利男	岩城 望
地域医療支援部	徳光 薫	小林哲理
相談支援・人材育成研修部	山根和史	
アクトおおさか	山根和史	
総務部	佐々木寛昭	
担当理事	平野貴久	

③2020 年度委員会経過および検討内容

<p>▼第 1 回定例会 4 月 24 日（金）12 名参加（河坂氏参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部進捗・2020 年度権利擁護虐待防止計画の確認 ・レジデンスなさはら喉詰事故検証委員会の報告 ・レジデンスなさはら不適切対応の報告
<p>▼第 2 回定例会 6 月 26 日（金）15 名参加（河坂氏参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部権利擁護虐待防止計画の進捗確認
<p>▼第 3 回定例会 8 月 21 日（金）13 名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部の進捗確認 ・クレドの浸透のための方策検討。 ・クレド振り返りチェック実施スケジュールの確認 ・9 月初旬にクレド振り返りチェックを配布。 ・9 月末までに回収し、集計を行った。
<p>▼第 4 回 定例会 10 月 23 日（金）11 名参加（河坂氏参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレド振り返りアンケート結果から浸透度について検証。 ・各部進捗確認 ・クレド浸透のために方策検討
<p>▼第 5 回定例会 12 月 25 日（金）13 名参加（河坂氏参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部進捗確認 ・「性」について意見交換 ・クレド浸透のための方策について検討
<p>▼第 6 回定例会 2 月 26 日（金）13 名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部進捗確認 ・クレド啓発ポスター、名刺裏のデザインの依頼を決定。 ・令和 3 年度権利擁護虐待防止計画の策定の確認

(7) 杉の子農園プロジェクト

① 令和元年度の取り組み内容

- i) 杉の子農園収穫祭は新型コロナウイルスのため、食事を伴うイベントの開催が難しく、開催を中止とした。
- ii) 法人栄養士のイベント「ランチフェスタ」を、収穫祭で使用する予定だった野菜を中心に作成し、ジョブサイトひむろ、萩の杜、ぶれいす Be のご利用者の昼食と CafeBe でのランチが提供された。
- iii) 大阪知的障害児者サポート協会の助成事業で「ランチフェスタ」に対して、100,000 円の助成金をもらう。
- iv) 農園担当者会議を行ない、各事業所と農園の取り組み、収穫祭についてを検討した。

② 杉の子農園プロジェクト 構成メンバー (10 名)

萩の杜 竹内恒 (プロジェクトリーダー) 池田裕哉
 ぶれいす Be 奥平健正 松本理恵
 ジョブサイトひむろ 森田耕平 中原智美 近藤晶
 杉の子農園実務職員 楠目守
 アドバイザー 沖本卓郎

③ まとめ

- i) 今年度も、「地域に生きる」の実践モデルの一つとして、休憩所を地域の方々に活用していただきながら、ご利用者や職員、ご家族とも交流されるなど、コミュニティの場としての機能を果たすことが出来た。また事業所の協力を得ながら、地域の方々に杉の子農園を知ってもらえる機会を設けることができた。
- ii) 今年度は、大阪知的障害者サポート協会からの助成を受けることで、ランチフェスタの費用だけでなく、農園にかかる購入費用 (種や用具など) も含めた支出を、農作物の売り上げと助成金による収入で、執り行うことができた。
- iii) 杉の子農園プロジェクトとしては、区切りをつけ、農園収穫祭の実行委員会形式として行なうことを検討していく。次年度の農園収穫祭の開催については、新型コロナウイルスの状況を見ながら、開催の是非を検討していく。

(8) 法人全体研修

研修日	研修内容	講師
令和 2 年 4 月 17 日	令和 2 年度理事長方針の発表 資格取得表彰 レジデンスなさはらの事故報告	松上理事長 総務部 地域生活支援部たかつき 平野部長
令和元年 7 月 18 日	業務貢献表彰優秀賞の事例発表 (オンライン開催)	該当者 アクトおおさか・ぶれいす Be・ あんだんて・ジョブサイトよど・ レジデンスなさはら・ジョブサイト

		ひむろ・ぶれす・萩の杜
12月14日	実践報告 (オンライン開催)	萩の杜、ジョブサイトひむろ、ぶれいす Be、地域生活支援部たかつき、地域医療支援部、相談支援・人材育成研修部、地域生活支援部よど、就労支援部、児童発達支援部、法人事業部
令和3年 2月6日	タウンホールミーティングの報告 (オンライン開催) 新型コロナウイルス感染防止動画	松上理事長 植松副理事長 タウンホールミーティング担当 松本ゆかり

(9) 内定者職員研修

研修日	内容	講師
令和2年 10月10日・24日	法人設立の経緯と社会福祉法人のあり方について	松上理事長
令和3年 2月6日	タウンホールミーティングの報告 (オンライン開催) 新型コロナウイルス感染防止動画	松上理事長 植松副理事長 タウンホールミーティング担当 松本ゆかり
2月15日 ～3月15日	5法人ジョイントセミナー (オンライン開催)	はるにれの里・やまびこの里・侑愛会・国立のぞみの園と共催

(10) 新入職者研修

研修日	研修内容	講師
令和2年 7月31日	法人設立の経緯、理念、沿革等 社会人になるにあたって	松上理事長 植松副理事長
9月4日	労務管理・人事考課・予算	法人事業部
9月25日	ビジネスマナー	就労支援部
10月30日	メンタルヘルスケア・ハラスメント	法人事業部
11月20日	権利擁護・虐待防止	平野理事・勝部理事
12月25日	コミュニケーション・チームビルディング	下理事
令和3年 1月29日	障がい福祉制度の概要、個別支援計画の考え方	相談支援部
3月5日	1年間の振り返りと来年度に向けて	下理事

2. 法人事業部

(1) 機関誌

発行月	主な内容	発行部数
4月	令和2年度方針、業務貢献表彰報告	3,500
7月	業務貢献表彰報告	3,500
10月	レジデンスよど三津屋北ホーム開設、業務貢献表彰報告	3,500
1月	新年を迎えて、業務貢献表彰	3,500

3. 萩の杜

(1) 施設入所支援・生活介護・(以下①及び⑥にはショートステイセンターぶれす含む)

①萩の杜会議：毎月1回開催

i) 萩の杜内各部署間の連絡調整

②萩の杜運営会議：毎月1回開催

i) 管理職-現場職の連絡調整

ii) 事業計画、職員体制の検討

iii) 内部研修会の企画運営

日程	研修内容	講師
4月1日(水)	障がい特性の理解 (新入職員対象研修)	久保友圭子
9月9日(水)	コミュニケーション	池田裕哉
12月8日(火)	萩の杜 実践報告会	各ユニット担当者 (講評：中山清司氏)

③生活グループ支援会議(施設入所支援)：毎月1回開催

i) 施設入所支援各グループに関する事項の共有、検討

ii) 業務等に関する事項の共有、検討

iii) 利用者支援に関する事項の共有、検討

④ふれっと支援会議/ふれっと なさはら支援会議(生活介護)：毎月1回開催

i) 施設入所支援各グループに関する事項の共有、検討

ii) 業務等に関する事項の共有、検討

iii) 利用者支援に関する事項の共有、検討

iv) レクリエーションの企画、立案、評価

⑤旅行担当者会議(施設入所支援)：例年実施しているがコロナ禍の為、中止

i) 旅行ニーズ、旅行先の調査及び開拓

ii) 日帰り旅行の企画、立案、評価

⑥リスクマネジメント委員会：毎月1回開催

i) ひやりはっと報告及び事故報告内容共有、意見交換

ii) 再発防止策等の検討

⑦安全対策委員会(萩の杜家族会と協同)：隔月開催

i) ひやりはっと報告及び事故報告内容共有、意見交換

ii) 再発防止策等の検討

(2) 保健看護

① 保健衛生業務

i) 身体測定 (年 2 回)、体重測定 (月 1 回)、血圧測定 (有所見者のみ月 1 回)

ii) 健康診断

a. 内科健診 (年 2 回)

前期: 6 月 25 日 (木)

後期: 11 月 19 日 (木)

② 保健看護業務

i) 疾病予防

a. 内科嘱託医 (なかじま診療所 中嶋医師) との連携

b. オーラルヘルスケアサービスによる口腔衛生指導 (希望者のみ・毎週水曜日)

c. かしわせ歯科クリニックによる歯科治療 (希望者のみ・毎週水曜)

d. 看護処置

ii) 精神科相談 (毎月 1 回金曜日: 啓友クリニック 西山医師)

iii) 受診件数 (上記精神科相談・オーラルヘルスケアサービスを含む)

受診科	件数	受診科	件数
内科	256	婦人科	0
外科	0	小児科	4
整形外科	27	精神科	372
脳神経外科	3	形成外科	0
眼科	8	てんかん発作外来	118
耳鼻科	4	歯科	483
皮膚科	31	入院	1
泌尿器科	1	手術	2
消化器科	5	救急	1

合計: 1,316 件

※上記入院期間及び入院先

期間	病院	診療科
7月4日(土) - 8月24日(月)	藍野病院	消化器内科
11月5日(木)-11月17日(火)	高槻赤十字病院	整形外科
2月9日(火)-	みどりヶ丘病院	整形外科

(3) 栄養管理

① 給食会議: 毎月 1 回開催

i) 利用者に関する報告

ii) 食事内容等に関する検討

② その他

i) 偏食等の利用者個別配慮調整

(4) 避難訓練

・コロナ禍の為、未実施

4. 短期入所 (ふれす・ふれいす Be)

(1) ふれす利用実績(延べ人数・カッコ)内は児童利用者数の内訳

	短期入所	日中一時支援			
	宿泊	4時間未満	4-8時間	8時間以上	合計
4月	54(0)	82(3)	32(3)	2(0)	116(6)
5月	64(0)	74(0)	44(6)	8(0)	126(6)
6月	65(0)	85(2)	37(1)	4(0)	126(3)
7月	64(0)	95(4)	43(1)	5(0)	143(5)
8月	74(0)	92(0)	41(3)	3(0)	136(3)
9月	71(2)	87(4)	38(1)	0(0)	125(5)
10月	70(0)	105(6)	37(1)	1(0)	143(7)
11月	75(0)	92(4)	36(1)	2(0)	130(5)
12月	63(0)	75(7)	24(1)	3(0)	102(8)
1月	44(0)	53(5)	30(1)	4(0)	87(6)
2月	46(0)	58(2)	24(0)	6(0)	88(2)
3月	50(0)	70(4)	36(2)	3(0)	109(6)
合計	740(2)	968(41)	422(21)	41(0)	1,431(62)

(2) ふれす送迎実績

月	回数	月	回数
4月	287回	10月	352回
5月	298回	11月	332回
6月	302回	12月	247回
7月	337回	1月	199回
8月	326回	2月	207回
9月	314回	3月	254回

合計：3,455回

(3) ふれいす Be 利用実績

(延べ人数・カッコ)内は児童利用者数、カッコ〈〉内は重身利用者数の内訳

	短期入所	日中一時支援			
	宿泊	4時間未満	4-8時間	8時間以上	合計
4月	33(0)〈3〉	80	15	3	98(8)〈30〉
5月	33(0)〈1〉	86	17	4	107(12)〈29〉

6月	44 (2) 〈5〉	123	19	5	147 (18) 〈47〉
7月	44 (2) 〈3〉	144	22	4	170 (21) 〈57〉
8月	46 (2) 〈4〉	116	24	1	141 (18) 〈49〉
9月	46 (2) 〈2〉	140	21	1	162 (20) 〈49〉
10月	54 (3) 〈3〉	162	22	3	187 (23) 〈52〉
11月	52 (3) 〈3〉	134	20	4	158 (18) 〈43〉
12月	47 (3) 〈3〉	135	19	4	158 (22) 〈43〉
1月	51 (1) 〈3〉	120	23	5	148 (23) 〈39〉
2月	51 (2) 〈3〉	119	20	4	143 (18) 〈45〉
3月	61 (5) 〈2〉	130	25	5	160 (21) 〈52〉
合計	562 (27) 〈33〉	1,489	247	43	1,779 (222) 〈535〉

(4) ふれいす Be 送迎実績

月	回数	月	回数
4月	102	10月	213
5月	109	11月	195
6月	160	12月	189
7月	199	1月	196
8月	156	2月	166
9月	187	3月	190

合計：2,062回

(5) ふれす-ふれいす Be 合同会議：毎月1回開催

- ①業務等に関する事項の共有、検討
- ②合同内部研修会の企画運営

日程	研修内容	講師
6月9日(火)	権利擁護	※コロナにより中止
10月13日(火)	感染予防と対策	岡野看護師
2月9日(火)	事例検討(3ケース)	

※年3回開催予定であったが、コロナ禍で2回の実施となった

5. ジョブサイトひむろ

(1) 生活介護係

- ① ジョブサイトひむろ会議：毎月1回開催
 - i) 利用者関係等、各グループ報告
 - ii) 事故、ひやりはっと報告について
 - iii) 事業計画、予算の進捗確認
- ② ジョブサイトひむろ支援員会議：不定期
 - i) 事例検討
 - ii) 日帰り旅行グルーピング検討、事前説明会

- ii) アクションプラン検討
- ②リスクマネジメント委員会：毎月1回開催
 - i) ひやりはっと報告及び事故報告内容共有、意見交換
 - ii) 再発防止策等の検討
 - iii) マニュアルの作成および説明会の実施
- ③工賃向上委員会：不定期
 - i) 新規受注作業の検討
 - ii) 作業評価シート（賞与支給）の進捗確認
 - iii) 工賃向上報告会の実施

物販

日程	イベント名
9月4日（金）	たかつき〇まるしえ
12月3日（木）	たかつき〇まるしえ

- ④レクリエーション委員会：不定期
 - i) レクリエーション企画の集約、調整
 - ii) 日帰り旅行の実施可否の検討
 - iii) コロナ禍でのレクリエーションの実施方法検討

作業グループ別レクリエーション

日程	行き先	人数	日程	行き先	人数
7月7日(火)	イオンモール桂川	3	11月5日(木)	テラツァレガーレ	3
7月10日(金)	イオンモール桂川	4	11月9日(月)	京都タワー	3
7月14日(火)	津の田ミート	3	11月10日(火)	嵐山トロッコ	3
7月30日(木)	安満遺跡公園	4	11月17日(火)	テラツァレガーレ	3
8月7日(金)	津の田ミート	2	11月20日(金)	五月山動物園	2
8月27日(木)	ランチ会 (弁当テイクアウト)	3	11月27日(金)	じゅうじゅうカルビ	3
9月3日(木)	びっくりドンキー	3	12月2日(水)	嵐山トロッコ	3
9月7日(月)	びっくりドンキー	3	12月3日(木)	津の田ミート	3
9月15日(火)	石清水八幡宮	4	12月9日(水)	勝尾寺／テイクアウト	3
9月16日(水)	千里南公園	3	12月11日(金)	デリバリー	4
9月16日(水)	UberEats@ひむろ 北	5	12月18日(金)	勝尾寺／テイクアウト	3
9月17日(木)	夢一喜	4	12月23日(水)	びっくりドンキー	1
9月24日(金)	淀川河川敷公園	4	12月24日(木)	デリバリー	3
9月13日(金)	UberEats@大王の 杜	7	1月15日(金)	デリバリー	3

9月13日(金)	サンダーズバイク 569 @安満遺跡公園	3	1月20日(水)	洗車/テイクアウト	1
10月22日(木)	萩谷総合公園	3	1月28日(木)	テイクアウト	3
11月2日(月)	花博、鶴見緑地	3	2月10日(水)	テイクアウト	3
11月4日(水)	萩谷総合公園	3	合計	35	108

事業所イベント

日程	内容	場所
8月13日(木)	ジョブサイトひむろ祭り	ジョブサイトひむろ
8月13日(木)	一緒にアート展	ジョブサイトひむろ
10月28日(水)	ランチフェスタ	ジョブサイトひむろ
12月25日(金)	クリスマス忘年会	ジョブサイトひむろ

⑤その他

内部研修

日程	内容
4月20日(月)	てんかん講座(真野先生)
5月18日(月)	てんかん講座(真野先生)
5月22日(金)	法人研修フィードバック研修
5月27日(水)	法人研修フィードバック研修
5月30日(土)	法人研修フィードバック研修
6月1日(月)	第1回自閉症研修
6月5日(金)	第1回自閉症研修
6月10日(水)	第1回自閉症研修
6月18日(木)	第2回自閉症研修
6月24日(水)	第2回自閉症研修
6月26日(金)	第2回自閉症研修
7月1日(水)	第3回自閉症研修
7月6日(月)	第3回自閉症研修
7月9日(木)	第3回自閉症研修
8月28日(金)	アンガーマネジメント研修
9月17日(木)	人権研修(事例検討)
10月12日(月)	動脈硬化について(真野先生)
11月3日(火)	ICF研修
11月5日(木)	リスクマネジメント研修
11月13日(金)	ICF研修
11月19日(木)	ICF研修
12月14日(月)	動脈硬化について(真野先生)

12月18日（金）	PECS SV報告会
1月18日（月）	甲状腺について（真野先生）
1月22日（金）	トーキングマット研修会
1月29日（金）	冰山モデル勉強会（ひむろ北）
2月1日（月）	冰山モデル勉強会（ひむろ南2F）
2月5日（金）	冰山モデル勉強会（ひむろ南1F）
2月10日（水）	冰山モデル勉強会（ひむろ北）
2月15日（月）	甲状腺について（真野先生）
2月19日（金）	令和2年5法人ジョイントセミナー視聴会（第1回目）
2月22日（月）	冰山モデル勉強会（ひむろ南2F）
2月19日（水）	令和2年5法人ジョイントセミナー視聴会（第1回目）
2月24日（木）	令和2年5法人ジョイントセミナー視聴会（第1回目）
2月26日（金）	令和2年5法人ジョイントセミナー視聴会（第2回目）
3月1日（月）	令和2年5法人ジョイントセミナー視聴会（第2回目）
3月2日（火）	令和2年5法人ジョイントセミナー視聴会（第2回目）
3月3日（水）	令和2年5法人ジョイントセミナー視聴会（第3回目）
3月5日（金）	令和2年5法人ジョイントセミナー視聴会（第3回目）
3月8日（月）	令和2年5法人ジョイントセミナー視聴会（第3回目）
3月10日（水）	令和2年5法人ジョイントセミナー視聴会（第4回目）
3月11日（木）	令和2年5法人ジョイントセミナー視聴会（第4回目）
3月12日（金）	令和2年5法人ジョイントセミナー視聴会（第4回目）
3月15日（月）	甲状腺について（真野先生）

見学

日程	見学者	人数
6月10日（火）	高槻支援学校保護者	2名
6月16日（火）	高槻支援学校保護者	6名
7月2日（木）	大阪府生活基盤推進課	4名
10月20日（火）	大阪府	5名
11月12日（木）	国立のぞみの園	1名
11月13日（金）	四幸舎和会	2名
1月14日（木）	堺市内新規立ち上げ予定事業所	1名

(2) 医務栄養

①医務会議：毎月1回開催

- i) 健康、予防プログラムの進捗確認
- ii) リハ加算の進捗確認
- iii) 真野先生巡回相談：年間12回
 - a. 職員向け研修：年間7回
 - b. 内科健診

- c. 風しん予防接種
- d. インフルエンザ予防接種
- e. リハビリテーション計画面談、更新
- f. ご家族、職員の相談

- iv) 健診オプションについての検討、ご家族との共有
- v) 予防接種の際の医療同意の啓発
- vi) その他医療に関わる案件の検討

②健康診断

i) 利用者健康診断

前期：5月30日（土）9:00～11:00（医療法人桜峰会 香川クリニック）
 （内容）身体測定、問診、血圧測定、胸部X線直接撮影、尿検査、血液検査
 感染症、アレルギー検査、骨密度検査（希望者のみ）

後期：12月5日（土）9:00～11:00（医療法人桜峰会 香川クリニック）
 （内容）身体測定、問診、血圧測定、インフルエンザ予防接種（希望者のみ）

ii) 職員健康診断

10月1日（火）～12月24日（木）（愛仁会総合保健センターにおいて実施）

③作業療法

- i) 個別セラピー：33名 年間66回実施
- ii) 体力測定：28名 年間1回実施
- iii) リハビリテーション計画書作成、評価：20名
- iv) ポールウォーキング
- v) ひむろファーム活動
- vi) ひむろボックスの実施
- vii) 一緒にアート展の実施
- viii) ICF研修会の実施

④栄養

- i) 給食会議：毎月1回実施
 - a. ご利用者に関する報告
 - b. 食事のリクエスト
 - c. 特食（祝日、土曜）メニューの検討
- ii) セレクト給食の実施（毎月1回）
- iii) その他
 - a. 季節を感じられるメニュー、ご当地グルメを取り入れた。
 - b. 塩分量の減少に努めた。
 - c. グループホームのご利用者に対し、栄養摂取状況の改善を図った。
 - d. ご利用者の誕生日に、バースデーカードとデザートを給食に添えた。
 - e. 収穫祭の中止に伴い、杉の子農園の野菜を使用したお弁当によるランチフェスタを実施した。

6. ふれいす Be 通所部門

(1) 知的生活介護 I (AR4/7)

- ①13名のご利用者が通所されていたが、内1名のご利用者が、病気により活動内容がご本人の状態にマッチしなくなり、11月に所属チームを変更された。
- ②作業面では、個々の特性やペースなどを考慮しながら、軽作業やクリーニング作業を提供した。軽作業においては、安定した受注が難しく、独自にカフェのショップカードを作成する事で、作業の安定を図った。
- ③作業療法士と連携し、サーキットトレーニングの実施を開始した。
- ④土曜日プログラムや週1の余暇活動の時間を使って、余暇支援を行った。また、それらを通して、社会性の向上や自己決定の機会を多く持つ事ができた。
- ⑤新型コロナウイルス感染予防対策として、環境と整えると共に、ご利用者への衛生講習会を定期的実施し、新しいマナーの習得や、感染予防の意識を高めるよう支援を行った。

(2) 知的生活介護 II (AR 1, 2, 8)

①AR1 / AR2

- i) コロナ禍の影響で、2020年4月～5月頃までAR1は1名、AR2は3名、通所を自粛されるご利用者がいらっしやったが、6月以降は、通所を再開されている。
- ii) 2020年12月にAR1のご利用者1名がてんかん発作の為、他界された。
- iii) 土曜プログラム時に、地域のスーパーやコンビニ、ケーキ屋を利用し、昼食のお弁当やデザートのお買い出しを行い、地域資源を活用する事ができた。
- iv) プログラム提供においては、ご家族からのニーズが高い、運動プログラムを中心に活動の組み立てを行った。散歩や空き缶潰し、Be周辺のゴミ拾い、室内運動としてトランポリン、カラーボールを用いた階段昇降運動、ピンポン球を用いた踏み台昇降運動、低位置から高位置にあるフックに輪を掛ける全身伸縮運動、ステッパー運動、バランスボール運動、ラジオ体操等に取り組んで頂き、複数のご利用者に体を動かす機会を確保した。今後も、AR1・2共に作業療法士と連携し、運動プログラムを充実させていきたいと考えている。
- v) 写真カードや絵カードを用いて余暇活動の選択をして頂き、意思表示の場面を増やした。

②AR 8

- i) 1名のご利用者がGHなさはらもとまちに入所。GHスタッフと連携を密に取りました。入所後も変わりなくふれいすBeに通所できている。
- ii) 上半期で1名のご利用者が退所。ご本人にふれいすBeでお仕事をするという動機もあまりなく、ご家族で引っ越しをされるなどの事情もあり、退所に至る。

- iii) ご利用者 1 名が 2 回、てんかん発作のため検査入院される。その際にスケジュールの作成や余暇活動の準備等を主導して行なう。
- iv) 土曜開所の際、コロナ過で外食ができないため、昼食のお弁当を様々な店を模索し、飽きが来ないように工夫する。

(3) 重身生活介護 (AR3)

①通所利用者

- i) 1 名他事業所に通う為退所され、新規で 1 名入られ 22 名のご利用者で開始する。
- ii) 年度途中より AR4 のご利用者が脳幹梗塞になり、身体機能が著しく低下した為重身フロアに移動された為 23 名となる。
- iii) 新型コロナウイルス感染予防や長期自宅療養の方もおられ、定員 22 名のご利用者うち通所人数が 7 割程減少する事があったが、その後 1 日 7 名~13 名程まで持ち直し安定して通所される。土曜開所も中止になる事もあった為、通常より少なく平均 1 名~4 名程利用となった。
- iv) 1 2 月にご利用者 1 名が亡くなられ、ご利用者 22 名となる。

②職員体制

- i) 常勤新人職員 2 名配属、新人職員育成の為に入浴介助やリフト、移動時、ポジショニング等を実際に体験し勉強会を行う。
- ii) 段階を得て新人職員にも日中活動の考案や日中一時、短期入所の担当が出来る様に先輩職員と相談しながら進めて行った。
- iii) スタッフ間のミーティングを月に 2 回設定し、常勤ミーティングと AR3 ミーティングとしてご利用者の状況や支援内容を相談、共有をおこなった。

③医療的ケア

- i) 喀痰吸引等研修第 2 号を受講した職員 1 名が指導看護師と連携し、現場にて吸引や経管栄養を実践する。また、新人職員 2 名にも喀痰吸引等研修第 3 号を受講し、医療的ケアの拡大を図った。
- ii) 呼吸器受け入れについては施設長、看護師、支援員、ご家庭と面談し、相談しながら呼吸器について理解を深められる様に現場スタッフ間でも話し合いの場を調整した。現在は呼吸器受け入れ準備が整っていない為、ご家族同伴での通所ご利用となっている。

④日中活動

- i) コロナ禍という事もあり、外出や夏祭りを制限する必要があったが、感染対策をしながら例年とは違う形で実行する事が出来た。
- ii) 外出活動では移動時の密をさけ、2 名~3 名と少人数で行ける様に設定した。外出先も商業施設ではなく季節感を感じられる様に公園に行った。
- iii) 夏祭りでは例年 1 日のみのイベント開催で人数が増えてしまう為、今回は通常の日中活動の中に入れ込み、1 週間かけて行う事にご利用者に楽しんで貰う事が出来た。

⑤感染予防

- i) 一介助一手洗いやアルコール消毒、適宜換気を徹底し、ご利用者が安定して通所出来る環境を整えた。
- ii) ご利用者の体調に気を付け、感染予防の為、早めにご家庭と共有し相談した。
- iii) 集団活動では密にならない様に環境設定を行い、活動後にはアルコール消毒を行った。

⑥日中一時・ショートステイ

- i) 通所のご利用者を中心に定期的に利用があったが、人員不足や感染予防等により例年に比べると人数は減少傾向にある。

(4) 就労継続支援B型（AR5, 6, リネン）

①就労継続支援B型 全体

- i) 引き続き、「働くこと」を支援の柱とし、ニーズに合った働く場の提供を模索した。
- ii) 社会生活スキルの向上、社会人としての育ちを個々に応じて支援を展開していった。
- iii) 特性や課題に合わせ、作業に取り組む目的を明確にし、より意欲的・前向きに取り組めるような支援に努めた。
- iv) 作業を軸とし、社会生活面や行動面、感情面でのスキルアップ、さらに自己肯定感や仕事への誇りの獲得といった社会人としての基礎の形成につなげた。
- v) 新型コロナウイルスの影響もあり、クリーニング、軽作業ともに受注数が減少する時期があった。

②クリーニング作業

- i) 病院、認定こども園、キャンプ場、民泊など様々な場所のリネン類の洗濯業務を請け負い、数多くのアイテムを担うことで、より多くのご利用者が仕事に携わることができるようにした。
- ii) ご利用者個々が持つ強みを、普段の取り組みから評価し、受注先に新たな仕事の提案をするなど新しい仕事に繋がった。
- iii) ご利用者個々に支払う工賃の支払額も向上。最高支払額も約23000円に至る。

③軽作業

- i) その時々で条件に合致したものを積極的に受注していき、工賃の向上に努めた。
- ii) 個々のニーズに合わせて、余暇支援を実施。

(5) Café Be

新型コロナウイルス感染症のため、以下の営業時間に変更し、感染症対策をとりながら短縮営業を行った。

- ・ 4月～5月20日まで：営業休止

- ・ 5月21日より : 午後のみ営業
- ・ 7月1日より : 12時からの営業
- ・ カフェコンサート : 中止

7. 地域生活支援部たかつき

1) レジデンスなさはら2丁目

①会議

- i) 個別支援ミーティング：毎月1～2回
 - ・ ご利用者の共通認識作成
 - ・ 個別支援の進捗確認、検討
 - ・ 個別支援計画の策定会議
- ii) 夜間会議：年間数回
 - ・ 夜間支援員と日中支援員の情報交換
 - ・ 夜間対応の状況確認と検討
- iii) とんだ世話人会議：毎月第1木曜日に開催。
 - ・ ご利用者の情報共有
 - ・ 世話人間の連絡調整
 - ・ とんだ業務全般に関する検討、助言、調整

②保健衛生業務

- i) 体重測定（最低月1回）
- ii) 利用者健康診断
- iii) 内科健診（年2回）基本的に日中活動先で受診
- iv) 職員健康診断（年1回 夜勤者は年2回）
- v) 清掃週間
 - ・ 年間3回、集中的に清掃・環境整備に取り組む週間を設定

③保健看護業務

- i) 食事疾病予防
- ii) オーラルヘルスケアサービスによる口腔衛生指導
 - （希望者のみ・基本毎月1～2回）
- iii) 各医療機関への受診
 - ・ 令和2年度も年間120件以上の通院件数となっている。
 - （オーラルヘルスケアサービスを含むと約300件）
 - ・ 高齢化が進み、加齢によるてんかんを発症された方や、脳梗塞になられた方もおられ、高齢化に対応した支援が求められて来ている。

④避難訓練

- ・ 5月、1月に実施。スムーズに避難できた。

(2) レジデンスなさはら

①会議

- i) 番館ミーティング：毎週
 - ・ご利用者の共通認識
 - ・個別支援の進捗確認、検討
- ii) 夜間ミーティング：年6回（3番館）、1番館（年間1回）
 - ・特に3番館夜間支援員と日中支援員の情報交換
 - ・夜間対応の状況確認と検討
- iii) レジデンス会議（毎月第3火曜日）
 - ・日勤帯職員の情報共有
 - ・予算、事業計画、アクションプランの進捗確認、検討

②保健衛生業務

- i) 体重、バイタル、SP02の測定（毎日もしくは週1回）
- ii) 利用者健康診断
 - ・内科健診（年2回）基本的に日中活動先で受診
- iii) 職員健康診断（年1回 夜勤者は年2回）

③保健看護業務

- i) 往診の受診
- ii) オーラルヘルスケアサービスによる口腔衛生指導
（希望者のみ・おひとり基本毎月1～2回）
- iii) 各医療機関への受診
 - ・今年度も年間約200件を超える通院件数となっている。
 - ・コロナ禍ではあったが、代理受診よりも実際にご本人が受診できるように取り組みを行った。
 - ・高齢化の兆候がみられ、耳鼻科の通院が増えてくるなど、今後の高齢化の支援が求められる。

④避難訓練

- ・9月、3月に実施。スムーズに避難できた。

(3) レジデンスなさはらもとまち

①会議

- i) もとまちミーティング（毎週開催）
 - ・個別支援計画に基づく支援の遂行。支援の調整や対応の統一。進捗管理。
 - ・収支状況の把握、タイムリーな案件（コロナ等）についての共通認識と対応等々
 - ・「もとまち基本理念」の検討
 - ・事業計画、アクションプランの遂行
- ii) 夜勤者ミーティング（2カ月に1回開催）
 - ・個別支援の状況を夜間支援員と確認し、共通認識と対応の統一を図る
 - ・夜勤業務の役割分担と遂行
 - ・夜勤者同士の情報交換
- iii) サービス担当者会議

- ・生活環境が大きく変更になったことによる状態の確認と共有
- ・ご利用者によっては医師もご参加いただき薬の狙いや効果についての共有と今後の方針の確認
- ・ご本人に必要なサービスの調整と支給決定につなげる

②保健衛生・通院等

- i) 日常の健康管理、ご家族と連携による服薬管理。
- ii) 体重測定（最低月1回）
- iii) 利用者健康診断
 - ・内科健診（年2回）基本的に日中活動先で受診
- iv) 職員健康診断（年1回 夜勤者は年2回）
- v) 個別の通院同行（睡眠や食事等の課題のあるご利用者の共通認識と通院同行）

③避難訓練

- ・9月、3月に実施。避難誘導訓練、消化訓練（シュミレーション）、通報訓練を実施。通報訓練のロールプレイを実施することで、様々な気づきがあり、マニュアルに落とし込む等につなげた。

8. 地域医療支援部

訪問看護事業開設2年目で基盤を固めた。職員10名で年間総訪問件数は4,530件（月平均377.5件）に達した。登録利用者数137名に上る。新型コロナウイルス蔓延防止策による利用自粛もあり、4月收入が195万円であったが、3月收入は480万円と収入面の伸びが見られた。システム変更を行う等、事業効率の向上も図った。

9. アクトおおさか

①発達障がい児（者）及びその家族等に対する相談支援と情報提供（家族等に対する家庭等での発達支援に関する相談支援と情報提供含む）

i) .実施内容

発達障がい児（者）またはそのご家族等からの相談に対する助言および情報提供。主訴に応じて、インテーク面接、相談等を実施し、指導助言ならびに情報提供を行った。必要な場合は、医療機関、他の診断評価機関との連携により医学的・心理的な診断・評価を行うよう紹介した。

ii. 実施回数

・個別支援

実支援人員 854人 延支援件数 1,563件

・個別支援のための調整会議

延実施回数 12回 延参加機関数 41機関

②発達障がい者及びその家族等に対する、就労に関して必要な相談等による支援

i) 実施内容

発達障がい者またはそのご家族等からの、就労に関する相談に対しての助言および情報提

供。

主訴に応じて個別の就労支援、ご家族・事業所へのサポート等の一連の支援を、地域障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、公共職業安定所等との連携により実施した。

ii) 実施回数

・個別支援

実支援人員 148人 延支援件数 664件

・個別支援のための調整会議

延実施回数 5回 延参加機関数 9機関

③機関コンサルテーション

i) 実施内容

相談支援事業所、地域活動支援センター、自立訓練・就労移行支援事業所、就労継続支援事業所、生活介護事業所等に対し、発達障がい者の特性に合わせた支援方法等についての助言や情報提供を行った。

ii) 実施回数

相談支援に関する機関コンサルテーション： 371件

就労支援に関する機関コンサルテーション： 6件

④発達障がい者地域支援マネージャー事業

i) 実施内容

発達障がい児者がライフステージを通じて、身近な地域において安心して暮らすことができるよう、発達障がい者地域支援マネージャーが地域自立支援協議会等を通じて、地域支援体制の機能強化を支援するため、以下の内容を実施した。

- ・地域支援体制の整備に向けた支援
- ・対応困難事例に対する課題の共有と助言
- ・地域自立支援協議会との協働
- ・オーダーメイド研修

ii) 実施市町村、内容

市町村	研修名	訪問回数	参加機関数(延)	参加人数(延)
茨木市	自分たちの地域を知るグループワーク	5	28	43名
岸和田市	岸和田市障害者自立支援協議会 相談支援部会 発達障害事例検討研修	4	29	41名
松原市	①発達障がいの理解と支援 ②アセスメントのポイントと気づきの視点をもつワーク ③事例検討 ④地域を知るグループワーク	7	77	177名
池田市	①福祉事業所で働く職員さんを対象：事例から学ぶ発達障	5	28	57名

	がいの支援 ②福祉事業所で働く職員さんを対象：発達障がいの子供を持つ家族の思いを支援者と共に			
交野市	①「発達障がいの理解と支援」～困っている背景を知る～ ②気づきの視点をもつワーク～アクトおおさかの事例を通して～ ③発達障がい事例検討	5	48	91名
柏原市	発達障がいの理解と支援	3	53	490名
熊取町	①基礎講座 発達障がいの理解と支援 ②気づきの視点をもつグループワーク ③アクトおおさか事例紹介&権利擁護について ④事例検討会 ⑤事例検討ケース会議方式	8	61	84名
能勢町	「気づきの視点を持つ研修」～困っている背景を考えよう～	3	21	42名
合計		40	345	1025

※訪問回数には、事業内容の調整のための訪問も含む

⑤関係施設及び関係機関等に対する普及啓発及び研修

i) 実施内容

医療・保健・福祉・教育・労働等の関係機関の職員等に対して、発達障がいの理解と支援のための研修会を実施した。

ii) 実施回数

計33回 延参加者数 1,940人

⑥連絡協議会及び調整会議の開催

i) 実施内容

関係機関等との連携のための発達障がい者支援センター連絡協議会の開催およびその他の関係機関との連絡調整会議に参画した。

ii) 実施回数

・発達障がい者支援センター連絡協議会

延実施回数 2回 延参加機関数 32機関

・関係機関との調整会議

延実施回数 12回 延参加機関数 151機関

⑦発達障がい児者支援マップの更新

i) 実施内容

平成26年度に整備した発達障がい児者に対する支援機関の情報を集約した発達障がい児者支援マップの更新について、大阪府発達障がい児者支援グループと協議した。今後、支援マップの在り方について引き続き協議が必要である。

⑧支援者対象公開講座

i) 目的

高機能の発達障がいがある方の見えない生き辛さや働きにくさ、支援方法などについて学ぶ機会を設け、幅広い支援者の基礎支援力向上につなげる。

ii) 対象

大阪府内の支援者（就労支援機関、教育関係者、医療機関、福祉事業所、行政機関など）

iii) 実施内容

日時・会場	内容	参加人数
2021年1月9日(土) 14:00～16:00 Zoom ウェビナー	「発達障がいの特性理解から就労支援を考える」 講師：早稲田大学教育学部・大学院教育学研究教育心理学教室 教授 梅永雄二氏	246名

⑨府民対象公開講座

i) 目的

昨年度、NPO法人DDAC（発達障害をもつ大人の会）代表の広野ゆい氏に支援者対象公開講座で講演していただき、その中で就労支援を行う上でも汎化できる大切なポイントを沢山教えていただいた。府民や家族の方々からも「参加したい」という問い合わせがあり、広野氏のお話は、支援者以外の方からのニーズも高いことが分かった。

そういった経緯から、今年度も引き続き、当事者でもありキャリアカウンセラーでもある広野氏に講演いただいた。就労に向けて必要な就労レディネス等を当事者目線と、加えて支援者としての経験も踏まえた説得力のあるお話を受講できる機会を設けることで、特に高機能タイプの発達障がいのある方の生き辛さ・働きにくさについて多くの府民に啓発することを目的とする。

ii) 対象

ご本人・ご家族及び福祉・教育・保健・医療・労働機関・各市町村の関係機関の支援者、公開講座のテーマに興味関心のある府民

iii) 実施内容

日時・会場	内容	参加機関数 (参加人数)
2021年3月13日(土) 14:00～16:00 Zoom ウェビナー	「自分らしく働き続けるカギを知る」 講師：NPO法人DDAC（発達障害をもつ大人の会） 代表 広野ゆい氏	138名

⑩コンサルテーションフォローアップ事業 発達障がい者の地域支援を考える会

i) 目的

これまでのコンサルテーション事業や個別ケースを通じて顔の見える関係がある地域の支援者との更なる連携強化を図ると共に、地域の支援者の支援スキル向上や地域のネットワーク構築を目指して、小規模の研修会を開催する。

ii) 対象

当初募集定員は40名程度を検討していたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況も鑑み、人数を絞り20名の定員で開催することとした。昨年度は就労支援機関の参加者が多く（延べ

参加者全体の半数)、発達障がいのある方の就労支援に関する研修ニーズが高いことが確認できた。今年度はご本人と企業をつなぐ役割である就労支援機関（障害者就業・生活支援センター、個別ケースで繋がりのある就労移行支援事業所、地域若者サポートステーション、ハローワーク）に焦点をあて、発達障がいのある方の就労支援と定着支援を中心に学べる研修会とした。

また、例年連続講座で発達障がいの基礎から学べる研修会を実施しているが、本年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等も鑑み、単発での開催となった。そのため、発達障がいの基礎理解を深めた上で参加者同士にやりとりしていただく研修会とするべく、当センターの支援者対象の公開講座（「発達障がいの特性理解から就労支援を考える」講師：早稲田大学大学院 梅永雄二先生）の受講を参加要件とした。

iii) 実施内容

日時・会場	内容	参加機関数 (参加人数)
R3年2月15日 14:00～16:00 大阪産業創造館 研修室A・B	① 講義「発達障がい者の就労・定着支援について」 講師：特定非営利法人クロスジョブ 代表 濱田 和秀氏 ② 参加者同士で自己紹介・講師とのディスカッション	9機関 (9名)

⑩大阪府発達障がい者支援センター連絡協議会

i) 目的

各支援機関の顔と顔の見える関係を通し、各々のライフステージでの課題や先駆的な取り組み等を共有することにより、更なる支援強化につなげていくことを目的とする。

ii) 対象

発達障がい児者の支援に関わる乳幼児期から成人期までの支援機関と行政機関、および当事者会と親の会。

- ・大阪LD親の会「おたふく会」
- ・一般社団法人大阪自閉スペクトラム症協会
- ・NPO法人DDAC 発達障害をもつ大人の会
- ・大阪府発達障がい児療育拠点6か所（青空（そら）/will/Link/PAL/Sun/Wave）
- ・大阪障害者職業センター
- ・大阪府就業促進課（OSAKA しごとフィールド）
- ・大阪府地域若者サポートステーション
- ・大阪府こころの健康総合センター
- ・大阪府障がい者自立相談支援センター
- ・大阪府岸和田子ども家庭センター
- ・大阪府教育庁教育総務企画課企画調整グループ
- ・大阪府福祉部障がい福祉室地域生活支援課発達障がい児者支援グループ

iii) 実施内容

日時・会場	内容	参加機関数
-------	----	-------

			(参加人数)
第1回	令和2年10月 新型コロナウイルス感染症対策のため書面開催	各委員に下記資料を送付 ① 令和2年度 大阪府発達障がい者支援センター連絡協議会委員名簿 ② 大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか 令和元年度事業報告 ③ アンケートまとめ	17 機関 (17名)
第2回	令和3年2月17日(水) 14:00~16:00 新型コロナウイルス感染症対策のためZoom開催	① 障がい者就業・生活支援センターの機能や役割について 情報提供: 大阪府就業・生活支援センター連絡会 代表幹事 大阪市障がい者就業・生活支援センター 所長 前野 哲哉氏 ② 各委員より①についての感想や共有したいこと等の報告	15 機関 (15名)

⑪ペアレント・トレーニング インストラクター情報交換会

i) 目的

大阪府ペアレント・サポート事業におけるペアレント・トレーニングインストラクター養成研修のフォローアップとして実施する。ペアレント・トレーニング(以下、PT)を実施される中での疑問点や悩み、また工夫されている点等について情報交換やアドバイザーのSVの機会も設けることで、各市町村における家族支援の充実の一助とする。

ii) 対象

各市町村でPTを実施されている、または今後実施を検討しているインストラクターを対象とした。

また、以下いずれかの条件に合う、市町村職員の方を対象とした。定員は30名とし、新型コロナウイルス感染症の感染症対策に留意することを案内にも明記し、集合研修スタイルで募集を行った。

①大阪府が実施したPTインストラクター養成研修を受講し、受講証明書を授与されている方で、現在PTを実施している方。

②上PT記①より伝達講習を受け、現在PTを実施されている方。

③今後、PTの実施を検討されているインストラクターの方

iii) 実施内容

・アドバイザーの両先生は養成研修の講師を担当いただいております、養成研修の内容や実際にPTを実践してこられた知見も併せてご助言いただいた。また、市町村からの“何を持ってPTとするのか分かりづらい”、“PTを実施する専門職がない”等市町村の声も鑑み、プログラムの核となる要素(コアエレメント)が再確認できる内容とした。

日時・会場	内容	参加機関数 (参加人数)
-------	----	-----------------

令和3年1月26日(火) 14:30~16:30 (ドーンセンター5階 特別会議室)	講義：『ペアレント・トレーニングについて (基本プラットホームにおけるプログラムの核となる要素)』 兵庫県立大学 看護学部 専門関連教育 学校保健学系 教授 古川 恵美氏	8市 (8名)
	講義：『実践からの気づきについて』 社会福祉法人北摂杉の子会 人材育成研修室 スーパーバイザー 谷岡 とし子氏	
	市町村間の情報交換／アドバイザーからのスーパーバイズ ・参加者自己紹介 ・実施状況・課題・効果等報告	

⑫アクトおおさか家族学習会

i) 目的

・発達障がいのご本人を支援するためには、身近な環境であるご家族の理解が重要である。相談者家族が発達障がいについて学びを深めることで家庭でのサポートにつなげる。

ii) 対象

アクトおおさかの相談者の家族

iii) 実施内容

- ・発達障がいの特性と社会資源についての連続講座を2回実施する。
- ・参加者はアクトおおさかの相談者のご家族の中で講座の目的に合うご家族に参加の声掛けをする。

日時	内容	参加者
2020年9月19日 14:00-16:00	講義：発達障がいの理解 講師：山根和史（アクトおおさか） 場所：谷四ばんらいビル4階A会議室	2名 (2家族)
2020年10月3日 14:00-16:00	講義：発達障がいのある方が活用できる制度や支援サービス 講師：山根和史（アクトおおさか） 場所：谷四ばんらいビル4階A会議室	2名 (2家族)
2021年2月20日 14:00-16:00	講義：発達障がいの理解 講師：山根和史（アクトおおさか） 場所：谷四ばんらいビル4階A会議室	3名 (2家族)
2021年3月6日 14:00-16:00	講義：発達障がいのある方が活用できる制度や支援サービス 講師：山根和史（アクトおおさか） 場所：谷四ばんらいビル4階A会議室	3名 (2家族)

⑬ペアレントサポート事業（ペアレント・メンター事業）に係る業務

i) 目的

地域における発達障がい児者の家族支援の充実を目的として、ペアレント・メンター事業の運営やペアレント・メンターの養成、その他事業を実施する。

ii) 実施内容

a) ペアレント・メンター養成研修の実施

フォローアップ研修、スキルアップ研修

(対象：大阪府ペアレント・メンター事業登録メンター)

研修名	日時・会場	内容	参加人数
フォローアップ研修	令和2年8月27日(木) 10:00~16:45 ドーンセンター大会議室1	午前 ・オリエンテーション ・行政説明(教育・労働・福祉) ・講義「自分の経験についての語り」 午後 ・講義「グループ相談の留意点」 ・演習①メンターとしての自己紹介 ②グループ相談をすすめる ・報告、まとめ	12名
スキルアップ研修	令和2年11月28日(土) 13:30~16:45 ドーンセンター特別会議室	・講義、演習①「傾聴体験～話を聴くこと～」 ・演習②「やってみようメンター体験～少数座談会 ver.～」 ・報告、まとめ	19名

講師

- ・鳴門教育大学大学院学校教育研究科 人間教育専攻 心理臨床コース 臨床心理学領域 准教授 小倉 正義 氏
- ・大阪大学キャンパスライフ健康支援センター 准教授 望月 直人 氏

b) メンター交流会の実施 (対象：大阪府ペアレント・メンター事業登録メンター)

研修名	日時・会場	内容	参加人数
メンター交流会	令和2年11月28日(土) 10:30~12:00 ドーンセンター特別会議室	・今年度の活動報告 ・実際のメンター活動の様子をビデオ上映 ・意見交換会	14名

c) 大阪府ペアレント・メンター事業運営委員会の実施

日時・場所		検討内容
1回目	令和2年10月2日(金) 10:00~12:00 谷四ばんらいビル4階 A会議室	・令和元年度事業報告について ・令和2年度事業進捗状況について ・「大阪府ペアレント・メンター事業についてのアンケート」の結果報告 ・その他報告、検討事項

2 回目	令和 3 年 2 月 書面開催にて実施	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度事業進捗状況について ・令和 3 年度事業内容（案）について ・令和 3 年度登録メンター意向調査について ・その他報告、検討事項
------	------------------------	--

d)ペアレント・メンター派遣について

	派遣日時	派遣依頼元 活用事業：場所	内容	参加 人数
1	8 月 3 日(月) 10:30~12:00	大阪府障がい者自立 相談支援センター ：同上	強度行動障がい有する方に対し支援を提供する従業者を対象に、これまでのお子さんの様子やご家族の思い、障害福祉サービス利用して支援者とどのように連携されたかなど。事前録画し、WEB 配信で実施。	708
2	9 月 9 日(水) 10:00~11:45	茨木市こども育成部 子育て支援課 ：男女共生センターロ ーズ WAM	0~18 歳の発達に支援の必要な子どもの保護者を対象に、先生や支援者とどのように連携してこられたか、横のつながりなど子育てをする中で支えになったこと、社会資源をどのように活用されたかなど。	24
3	10 月 16 日(金) 14:00~16:00	豊能町教育委員会 義務教育課 ：豊能町立東能勢小学 校	支援学級保護者、支援学級担任を対象に、中学校や高校の進路選択や就労について、お子さんの自立に向けて、家庭と学校でどのように連携してこられたかなど。	14
4	10 月 22 日(木) 15:30~16:30	豊能町教育委員会 義務教育課 ：豊能町立光風台小学 校	支援学級在籍の保護者を対象に、これまで受けてこられた支援についてなど。	12
5	10 月 28 日(水) 10:00~12:00	豊中市こども未来部 こども相談課 ：豊中市すこやかプラ ザ 1 階多目的室	発達に課題のあるお子さんの保護者を対象に、義務教育後の進路選択についてどのように学校等の情報収集をされたか、学校との連携など。	35

6	11月5日(木) 10:00~11:00	自閉症療育センター Link こども発達支援センターwill :枚方市民会館	保護者、支援者を対象に、療育を受けられた経験から家庭でのサポートに取り組みられたり、園や学校とどのように連携されてきたか等。対面で実施後 WEB 配信も行う。	23
7	11月18日(水) 10:00~12:00	熊取町健康福祉部子育て支援課 :熊取ふれあいセンター	保・小・中に在園(校)する発達障がい児の保護者を対象に、子育ての悩みをどのように乗り越えてこられたか、進路選択をどのようにされたか、就労支援や就労についてなど。	20
8	11月20日(金) 15:30~17:00	豊能町教育委員会 義務教育課 :豊能町立吉川小学校	支援学級在籍児童の保護者及び教員を対象に、療育手帳の取得のついて、保護者同士が繋がる方法について、今後の進路選択や就労についてなど。	9
9	11月26日(木) 10:30~12:00	池田市基幹相談支援センターあおぞら :池田市保健福祉総合センター健康教育室	障害児者福祉サービス事業所職員を対象に、子育てを通して感じられた思いや支援者との関わりの中で感じられたことなど。	24
10	12月9日(水) 9:30~11:30	東大阪市子どもすこやか部地域支援課 :東大阪市役所7階会議室2	ペアレントトレーニング参加者(市民)や従事職員を対象に、経験談の紹介+座談会。	9
11	12月9日(水) 13:00~14:30	東大阪市子どもすこやか部地域支援課 :東大阪市役所7階会議室2	家庭児童相談員を対象に、相談先に言われて嬉しかったこと、ショックだったこと、連携して助かったことなど。	10
12	2月22日(月) 10:00~12:00	豊中市こども未来部 こども相談課 :豊中市すこやかプラザ1階多目的室	発達に課題のあるお子さんの保護者を対象に、知的に遅れはないが乳幼児期にお子さんの言葉の発達についての経験談やご家族としてどのように関わってこられたかなど。	28
13	3月23日(火) 10:00~11:30	四條畷市児童発達支援センター :四條畷市市民総合センター 展示ホール	市民対象に、お子さんのことを周囲の人にどのように理解してもらったか、高校の進路選択時にどのように情報収集して選択されたか、他の保護者との付き合い方、園や学校との連携についてなど。	18

1 4	6月3日(水) 15:30~17:00	【新型コロナウイルス対策のため中止】 高槻市子ども未来部 保育幼稚園総務課 :高槻子ども未来館3 階研修室	公立・民間の保育所・認定こども園・幼稚園の職員を対象に、子育ての中で感じたこと、保育士に伝えたいことなど。	—
1 5	1月21日(木) 14:00~16:00	【新型コロナウイルス対策のため中止】 泉佐野市こども部子 育て支援課 :レイクアルスタープ ラザ・カワサキ生涯学 習センター	協議会構成員、保育園・こども園・幼稚園・小中学校の支援に関わる保育士、保育教諭、幼稚園教諭、教職員などを対象に、ライフステージが変わる際にどのように情報を引き継いでこられたか、園や学校と連携について支援者に求めることなど。	—
1 6	2月16日(火) 14:30~16:00	【新型コロナウイルス対策のため中止】 豊能町教育委員会 義務教育課 :豊能町立東ときわ台 小学校	支援学級在籍児童の保護者、通級指導教室入室児童の保護者を対象に、進路選択について、家庭でどのようなサポートをしてこられたか、学校以外でどこに(誰に)相談されてきたかなど。	—
計(人)				934

10. あんだんて

事業所名：生活支援センターあんだんて						
高槻市知的障害者生活支援事業(委託相談)						
実績	実人数	延べ人数				
	129	659				

<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内委託相談支援事業所の共有会議の企画と実施 ・市内相談支援事業所連携会議事務局として企画運営 ・自立支援協議会の参加（ケアマネ部会 課題分析チーム） ・制度などにつながらないケースへの長期的支援、介護保険と自立支援サービスの併給や入浴介助の時間制限、居宅介護での育児支援の支給などに対する積極的な行政交渉などのソーシャルワーク、ソーシャルアクションの実施 						
<p>計画相談（指定特定相談支援）</p>						
実績	契約者数	契約者数	モニタリング			
	186	158	540			
<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規契約3件（いずれも委託相談からの移行） ・体制加算対象研修の参加（精神障害者支援体制加算・要医療的ケア児者支援体制加算） ・モニタリングの積極的な追加（前年比 56 件増により 160 万円の収益増） ・zoom を使ったモニタリングや会議を実施 ・事務処理を効率化し加算取りこぼしや請求漏れを予防し、さらに担当者の進捗がわかるようにリストを見直すなど様々な工夫で業務の効率化を図った 						
<p>その他（指定一般相談事業、障害程度区分調査など）</p>						
<ul style="list-style-type: none"> ・指定委託相談支援事業所に対しての助言（ケースのアドバイスや計画相談の手法や情報提供など） ・家庭から GH への移行支援（2件完了）。希望があっても移行はできていないが、イメージをもってもらうために見学を実施するなど取り組みを行った。 						
<p>地域との連携の取り組み</p>						
<ul style="list-style-type: none"> ・8050事例の連携：地域包括やケアマネとの連携 						

<ul style="list-style-type: none"> ・高槻市相談支援事業所連携会議の実施 ・高槻市内相談支援事業所向けへの発達障害者支援に関する勉強会 ・就労・生活支援センターとの連携会議の実施
<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内相談支援事業所の連携を図るため、毎月オンラインで会議を実施するほか、チャットワークを取り入れて、情報共有が円滑に実施できるようにした

11. wish

事業所名：こども相談支援センターwish				
高槻市知的障がい児相談支援事業（委託相談）				
実績	実人数	延べ人数	区分認定	福祉出張相談（高槻支援学校）
	137人	416人	23件	1回
<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に比べると、未就学児の相談が全体の20%を占め、一番多い相談時期は小学生の42%であった。年齢別でみると、就学前、小4～6年、中1、高3生の相談と進路選択時期であったり移行期にあたっての相談が増えている傾向であった。 ・サービスに繋がっていないケースが全体の45%を占め、その内不登校や引きこもりといった相談も多く教育との連携が欠かせないケースや家族機能的にしんどいケースもあり他機関との連携が必要なケースが増えている。どう地域で住みやすい環境を作っていくか大きな課題である。 				
計画相談（障がい児相談）				
実績	契約者数	初回加算		
	96	14		
<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規契約を14件。通常児童は、6ヶ月に1回のモニタリングであるが、行動援護や居宅介護ご利用の方には3ヶ月に1回のモニタリングを実施（3件） ・新規契約者数を増やしても、就学に上がる時にサービス利用を辞められたり、学校優先でサービス利用をされないケース等計画相談が途中で終了となるケースがあり、中々思うように増えないため収入へと結びつかない現状がある。 ・新規ご利用者を確保しても一人あたりの収入が低いため、卒業後のフォローを検討。卒業後のフォローケースが実情として年に数件あり、20歳まで移行支援のフォローとして次年度から計画相談を実施し、安定した収入を確保していく。 				
地域との連携の取り組み				

	実施回数	内容
自立支援協議会 ケアマネジメント連絡会	9回	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題についての検討及び情報共有 ・研修チームとして、研修の検討企画を行った
自立支援協議会 子どもワーキング	4回(+2回打ち合わせ)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題としてあがってきた「通学支援」について検討と意見交換。 ・医療的ケア児の支援についての検討。
自立支援協議会 計画策定ワーキング	5回	<ul style="list-style-type: none"> ・「第2次高槻市障がい者基本計画」及び「高槻市第6期障がい福祉計画及び第2期障がい児福祉計画」の策定にあたるワーキングに参画。
高槻市障がい児相談支援事業所連絡会及び勉強会	7回 (コロナのため開催中止月あり)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政(発達支援事業所)と市内の障がい児の相談支援事業と情報交換会(月1回) ・相談支援事業所同士の勉強会
高槻市相談支援事業所連絡会	毎月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の成人から児童含めた相談支援事業所同士で情報交換及び意見交換を実施。
<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会へ参画し、相談から見えてくる地域課題について検討できる機会があることで、市へのサービス提言にも繋げていくことができつつある。 		

12. 人材育成研修室

事業所名：人材育成研修室			
事業：コンサルテーション事業			
内容	実施回数	主な派遣先	備考
訪問コンサルテーション	143回/19事業所	来島会 スバルトータルプランニング 兵庫県内事業所など	
学校コンサルテーション	16回/3市教育委員会	高槻市 和泉市 泉大津市	
講師派遣	4回	鳥取県虐待防止研修 東大阪市虐待防止講演会 など	
<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域からのコンサルテーションニーズも多く19事業所に143回の訪問を実施した。兵庫県知的障害者福祉協会を連携して、兵庫県内の事業所に集中的にコンサルテーションを実施している。 ・学校コンサルテーションを3市の教育委員会を連携して実施した。高槻市に関しては 			

リーディングティーチャーを中心に事例検討を行い、支援力の向上を図る。			
事業：大阪府重度知的障がい者地域生活支援体制整備モデル事業			
内容	実地回数	主な派遣先	備考
訪問コンサルテーション	18回	四幸舎和会 和光福祉会	
実地研修	2回	レジデンスなさはらで職員2名を 3日間受け入れ	
運営委員会	3回		
<p>評価</p> <p>・大阪府から上記事業の委託を受け実施した。コロナ禍の状況もあり訪問等ができない場面もあったが、2法人に対して訪問コンサルテーション、実地研修を実施した。事例検討、応用講座、事業所での実習を通じて支援力向上に努めた。参加法人へのアンケートを通じて効果検証したところ、特性理解と環境調整について理解が深まった。こうした成果を踏まえて令和3年度からは3年間の事業として実施される。</p>			

1.3. 地域生活支援部よど

(1) ジョブサイトよど

①5階

- ・フロア環境の物理的再構造化：ご利用者の個人エリアについて、多目的な使用になってしまっている活動場所の整理や老朽化している箇所の補修等を行った。また死角となっていた箇所についても、家具の配置を見直し、新たな活動スペースを作る等に繋がった。
- ・支援力向上の為の研修会の実施・冰山モデルシートの活用：フロア担当が講師となり、新たに入職した職員向けの障害特性・構造化についての研修会を実施した。また、フロア内で各職員が1ケースずつ冰山モデルシートを使用し、支援を組み立てる実践を行った。
- ・余暇プログラムの充実：フロア全体の余暇プログラムとして、お菓子作りや玄関の水やり等を追加した。また全体の余暇プログラム以外に、サッカー練習やレモンティ作りなど、個人への余暇プログラムの充実を図った。
- ・運動プログラムの取り入れ：既存の運動プログラムに追加して、屈伸運動、階段昇降を実施した。運動が行えるスペースの整理も行った。

②4階

- ・コロナ感染症の影響で利用自粛や、身の回りの社会資源の選択肢の減少で、ご利用者の生活は従来通りにはいかず、見通し不安や混乱がある1年だった。
- ・感染リスク・今後の不安を少しでも減らそうと工夫しながら、余暇や仕事の機会を提供した。表出コミュニケーション・構造化・グループホーム移行・状況の説明など、1人1人個別化して支援を行なった。

③3階

- ・今年度は2名のご利用者が退所され、合計11名が利用された。
- ・今年度も『ドリンクタイム』という活動を取り入れ、ご利用者1人1人に好きな飲み物を選んでいただく機会を設け、ご本人の意思決定の場面を意識した
- ・コロナ禍でも充実した生活が送れるよう、室内で出来る余暇活動を提供した。具体的には、簡単な調理や実験を行った。
- ・新型コロナウイルス感染予防のため、利用を自粛されるご利用者が数名みられた。

④2階

- ・4月から新型コロナウイルスの影響で休まれるご利用者が多くみられ、その影響で遠方から通所が難しくなったご利用者が1名退所となり、2階は5名のご利用者となった。
- ・ドリンクタイムに引き続き、地域の資源を活用した買い物の機会も導入した。
- ・年間を通し、意思決定支援を意識したご利用者主体の過ごしを計画、実施した。

⑤コロッケ事業

- ・よどのコロッケの店舗終了に伴いコロッケの製造量は減少したが、他事業所・他法人へのコロッケ配達は継続し、新規の配達先も1件増えた。
- ・杉の子会秋祭りのお弁当のために新メニュー「れんこんコロッケ」を製造した。
- ・コロナ禍によりイベント等での外販をおこなうことができなかった。

(2) ジェイ・ランチよど

①受注作業

- ・受注作業の内容は例年と同じく、企業からの下請け作業として、絵の具などの文房具や衛生用品などの「検品」「組立」「シール貼り」「袋入れ」「袋とじ」といったものが中心だった。
- ・継続して取引のある三つの企業のうち、年度当初は新型コロナウイルス感染(一回目の緊急事態宣言)の影響で、絵の具を扱う受注作業がかなり減ってしまった。そのため他の企業に受注作業を回してくれるように依頼するなど、作業確保に関して悩ましい状況が続いた。
- ・緊急事態宣言が解除され、昨年秋ごろから受注作業は元通りに安定してきたが、今年に入って文房具/ハンカチなどの下請けをしていた企業の受注作業が滞っており、他の取引企業に作業量を増やしてもらおうなど、またしても受注作業の確保が急務となってきている。

②施設外就労

- ・新型コロナウイルスの影響により、郵便局内食堂での食器洗いの作業や十三の焼き肉屋の清掃作業が契約終了となった。
- ・箱折作業の会社の津田紙工は緊急事態宣言の影響で4月から長期の休みとなったが、9月16日から再開させていただいている。
- ・津田紙工で作業をしていたご利用者が退所となり、作業に携われるご利用者が減り、ご利用者のスキルアップやご利用者の確保が必要となっている。施設外就労

先が減り開拓が課題であるが、現在、施設外就労に携わることが難しいご利用者ができるような作業内容で開拓する必要がある。

(3) レジデンスよど三津屋北ホーム

①開設準備

- ・9月の開所を目指し、家電購入、支援員の人員確保、各ご利用者へのグループホームについての説明、ホーム内で使用のご利用者のスケジュール等視覚提示作成などの準備を行なった。
- ・建築は工程通りに進み引き渡しも8/1に予定通り行われたが、人員がなかなか揃わず、9月からは1階のみの開所になった。人員確保を進め、11月に2階を開所した。3階については2021年4月開設予定となっている。

②開設後の取り組み

- ・ローテーション勤務であっても統一した支援ができるように、支援員の動線を現状に合わせて随時改定している。また、三津屋北ホーム支援員全員に、順次、eラーニングの視聴、権利擁護や感染症対策の研修資料を回覧し、支援の質の向上を図った。

14. 就労支援部

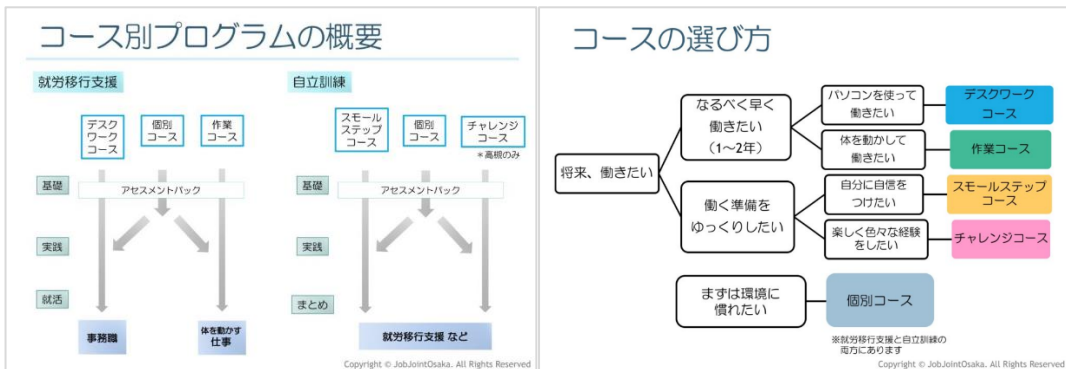
(1) ジョブジョイントおおさか

- ・プログラムの内容、就職の実績

令和2年度より職業訓練の内容を「コース別プログラム」に改定。

コースごとに就労支援の進め方をわかりやすく伝えられるよう努めた。

就労支援の実績は、十三3名、高槻8名の計11名が就職。



就労移行支援 *十三オフィス

デスクワークコース
事務職で働きたい方におすすめ
パソコンや事務系作業の練習ができます

【週間スケジュール】

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9:30~11:45 AM 勉強会 プレゼン チャレンジ (他府)	企業研究 講座	オフィス ワーク	グループ ワーク	ヘルスケア	土曜クラブ
昼休み					
12:45~15:00 PM マイタイム	オフィス ワーク	オフィス ワーク	オフィス ワーク	オフィス ワーク	

就労移行支援 *高槻オフィス

作業コース
体を動かしたり手先を使った仕事で働きたい方におすすめ
会社で製造の仕事も経験できます

【週間スケジュール】

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9:30~11:45 AM 勉強会	ワーク サンプル	ヘルスケア	トライ ワーク	マイタイム egタイム	土曜クラブ
昼休み					
12:45~15:00 PM プレゼン チャレンジ	トライ ワーク	トライ ワーク	ワーク サンプル		

強みを活かし、発達障がいのある人と職場をつなぐ

自立訓練 *+三オフィス

スモールステップコース

ゆっくり自信をつけたり働く準備をしたい方におすすめ
講座や作業を通して、得意・苦手を知ることができます



【週間スケジュール】

9:20- 9:30-11:45	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
A M	egタイム	ヘルスクア	ジョブトレ	オフィス ワーク	ヘルスクア	土曜クラブ
昼休み						*月11-2回 毎月1回
P M	オフィス ワーク	ライフスキル 倶楽部	ジョブトレ	プレゼン チャレンジ		

*2階に1回定時退社あり（曜日・時間、利用者の方によって異なります）

Copyright © JobJointOsaka. All Rights Reserved

強みを活かし、発達障がいのある人と職場をつなぐ

自立訓練 *高専オフィス

チャレンジコース

楽しく色々な体験をしながら社会に出る準備を
したい方におすすめ
生活に必要なスキルを学んだり仕事の練習ができます



【週間スケジュール】

9:20- 9:30-11:45	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
A M	ヘルスクア ワークアウト	ジョブトレ	ライフスキル 倶楽部	ジョブトレ	ヘルスクア ワークアウト	土曜クラブ
昼休み						*月11-2回 毎月1回
P M	ジョブトレ	egタイム	egタイム	マイタイム プレゼン チャレンジ		

*2階に1回定時退社あり（曜日・時間、利用者の方によって異なります）

Copyright © JobJointOsaka. All Rights Reserved

・ 新型コロナ（春の緊急事態宣言）対策で web 発信

緊急事態宣言による急な環境変化もあり、web を使って以下の取り組みを行った。
利用者の方、就職した方、ご家族がいつでも見れるよう、web サイトを活用して発信。
ASDの方が理解しやすいように、PPTで視覚的に分かりやすく伝える工夫を行った。

* web サイト

もしもに備えるハンドブック <https://jobjoint-osaka.com/1538/>

ステイホームへの対処法 ～自宅をJJにしよう！～ <https://jobjoint-osaka.com/1651/>

気持ちを切り替えるためのアイデア集 <https://jobjoint-osaka.com/1698/>

新しい生活様式とは <https://jobjoint-osaka.com/1866/>

強みを活かし、発達障がいのある人と職場をつなぐ

もしもに備えるハンドブック

20200403



社会福祉法人北摂杉の子会
ジョブジョイントおおさか

Copyright © JobJointOsaka. All Rights Reserved

強みを活かし、発達障がいのある人と職場をつなぐ

ステイホームへの対処法

～自宅をJJにしよう！～

20200414



社会福祉法人北摂杉の子会
ジョブジョイントおおさか

Copyright © JobJointOsaka. All Rights Reserved

強みを活かし、発達障がいのある人と職場をつなぐ

気分転換・ストレス発散

～気持ちを切り替えるためのアイデア集～

20200421



社会福祉法人北摂杉の子会
ジョブジョイントおおさか

Copyright © JobJointOsaka. All Rights Reserved

強みを活かし、発達障がいのある人と職場をつなぐ

新しい生活様式

～仕事・生活の場面で取り入れていくために～

20200610



社会福祉法人北摂杉の子会
ジョブジョイントおおさか

Copyright © JobJointOsaka. All Rights Reserved

・ 働くチカラ PROJECT

株式会社エンカレッジと協働で事業運営。

発達障害やコミュニケーションが苦手な大学生への就活支援を提供。

参加学生は、就活のススメ・就活のハジメ・フォローアップコースを合わせ、41名。

以下、プログラム内容である。

発達障害やコミュニケーションが苦手な学生のための「チカS PROJECT」

就活のススメ

3・4年生・院生（短大・専門学校等の卒業年度生含む）対象
就活のススメは、就職活動に向けた就活準備講座です。企業でのインターンシップがあり、「働く」ことの体験体験を通して、就活の準備が整います。また、インターンシップでの就職活動を通して、就活の準備が整います。

アルバイト経験がない... 就職活動不安だ... コミュニケーションに自信がない 自分が働くイメージがわからない 就活の進め方がわからない

少人数制 具体的にわかりやすいプログラム 自分の強みを発見 インターンシップで経験値UP

プログラム

月	回	日	内容
6月	第1回	20日(土)	オリエンテーション・ビジネスマナー
7月	第2回	11日(土)	オリエンテーション
8月			-
9月	第3回	5日(土)	コミュニケーション講座
10月			-
11月	第4回	14日(土)	先輩の話・スミ・ハタ合同企業
12月	第5回	5日(土)	自己PR・ガクチカを作ろう
1月			-
2月	第6回	20日(土)	企業研究講座
3月	第7回	6日(土)	面接対策講座・修了式

変更点①
6月はオンライン開催

発達障害やコミュニケーションが苦手な学生のための「チカS PROJECT」

就活のススメ

3・4年生・院生（短大・専門学校等の卒業年度生含む）対象
就活のススメは、就職活動に向けた就活準備講座です。企業でのインターンシップがあり、「働く」ことの体験体験を通して、就活の準備が整います。また、インターンシップでの就職活動を通して、就活の準備が整います。

アルバイト経験がない... 就職活動不安だ... コミュニケーションに自信がない 自分が働くイメージがわからない 就活の進め方がわからない

少人数制 具体的にわかりやすいプログラム 自分の強みを発見 インターンシップで経験値UP

プログラム

月	回	日	内容
6月			買コース -
7月		7月11日(土)	就職準備講座・春用開校
8月		8月11日(土)	インターンシップ・エントリーシート作り
9月			インターン先決定 インターンシップ(5日) 面接対策講座
10月			-
11月			中止
12月			-
1月			インターン先決定 インターンシップ(5日) 面接対策講座
2月			-
3月		3月11日(土)	インターンシップ報告会(春コース)

変更点②
買コースは中止。春コースのみ抽選制(定員10名)

変更点③
買コースは中止。1day企業セミナーを実施

発達障害やコミュニケーションが苦手な学生のための「チカS PROJECT」

就活のススメ フォローアップコース

2019年度 就活のススメに参加された方 対象
就活のススメ～フォローアップコースへは、就職活動に向けて、個別に連絡相談や面接対策ができるリヒーター限定コースです。オリジナルセミナーとして、企業でのインターンシップや、スミ・ハタの講座に参加できます。個別面談で丁寧なサポートを受けながら、更に経験を積んだり、改めて就活に必要なことを再確認し、就職活動を本格的にスミていきますよ！

就活の進め方がわからない 就職活動不安だ... コミュニケーションに自信がない 自分が働くイメージがわからない アルバイト経験がない

個別対応でより丁寧な就活 自分のペースで進められる 自分の強みを発見 インターンシップで経験値UP

プログラム内容

月	日	内容	料金
6月20日(土)	個別面談	名前、年齢、連絡先、希望職種、希望企業、希望地域、希望職種、希望企業、希望地域	無料
8月5日(土)	個別面談	希望職種、希望企業、希望地域	無料
12月13日(土)	個別面談	希望職種、希望企業、希望地域	無料

2019年度 就活のススメに参加された方 対象
就活のススメ～フォローアップコースへは、就職活動に向けて、個別に連絡相談や面接対策ができるリヒーター限定コースです。オリジナルセミナーとして、企業でのインターンシップや、スミ・ハタの講座に参加できます。個別面談で丁寧なサポートを受けながら、更に経験を積んだり、改めて就活に必要なことを再確認し、就職活動を本格的にスミていきますよ！

2019年度 就活のススメに参加された方 対象
就活のススメ～フォローアップコースへは、就職活動に向けて、個別に連絡相談や面接対策ができるリヒーター限定コースです。オリジナルセミナーとして、企業でのインターンシップや、スミ・ハタの講座に参加できます。個別面談で丁寧なサポートを受けながら、更に経験を積んだり、改めて就活に必要なことを再確認し、就職活動を本格的にスミていきますよ！

2019年度 就活のススメに参加された方 対象
就活のススメ～フォローアップコースへは、就職活動に向けて、個別に連絡相談や面接対策ができるリヒーター限定コースです。オリジナルセミナーとして、企業でのインターンシップや、スミ・ハタの講座に参加できます。個別面談で丁寧なサポートを受けながら、更に経験を積んだり、改めて就活に必要なことを再確認し、就職活動を本格的にスミていきますよ！

発達障害やコミュニケーションが苦手な学生のための「チカS PROJECT」

就活のハジメ

全年齢 対象
就活のハジメは、これから就職活動に向けての就職準備講座です。楽しくコミュニケーションについて学んだり、スケジュール管理や持ち物のコントロールなど、就職活動に向けての準備を少しずつ始めたい方におすすめです。就職活動に向けての準備を少しずつ始めたい方におすすめです。就職活動に向けての準備を少しずつ始めたい方におすすめです。

就職活動がどうやってはじめるんだろう? 就職活動不安だ... コミュニケーションが苦手... 自分が働くイメージがわからない

少人数制 具体的にわかりやすいプログラム 就活の準備を楽しくスタート

プログラム内容

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
11月14日(土)	12月9日(土)	1月9日(土)	2月20日(土)	3月6日(土)
先輩の話	コミュニケーション講座	コミュニケーション講座	コミュニケーション講座	就職準備講座
就職活動のイメージがわかない	就職活動のイメージがわかない	就職活動のイメージがわかない	就職活動のイメージがわかない	就職活動のイメージがわかない

ベネッセコース(2年生以上対象) 〇 〇 〇 〇 〇
フレコース(1年生対象) - 〇 - 〇 -

・障がい者雇用セミナー

障がい者雇用企業を対象に3回シリーズでセミナーを開催した。

第1回目：2月24日（水）16:00～17:30／テーマ：障がいへの理解

第2回目：3月10日（水）16:00～17:30／テーマ：職場環境づくり

第3回目：3月24日（水）16:00～17:30／テーマ：スムーズな採用

3回とも10～15名の企業担当者にご参加いただいた。

セミナー後は、企業訪問や実習受入れに繋がった企業もあり、一定の成果があった。

・第3回 JJ おおさか実践報告会

Webと会場のハイブリットで開催。80名程度の方にご参加いただくことができた。

当日の内容は、以下のとおり。

<第一部>

テーマ：「地域医療と発達障がい」～有希クリニックの取り組みを通して～

講師：有希クリニック 院長 鬼頭ともよ氏

<第二部>

① 自立訓練の取り組み（自立訓練担当 上口夏菜穂 徳野早苗）

② （株）ベルシステム24の就職事例（定着支援担当 岡本晴菜）

③ （株）エムツープレストの就職事例（天瀬克也さん、現場リーダー沖長悦子氏）

< 第三部 >

登壇された講師の方々と質疑応答

- ・就職者の動画を制作・公開

上記の実践報告会に合わせて、就職者の動画を制作。

web サイト、YouTube にて公開をしている。

<https://www.youtube.com/watch?v=lcJdtYVD7mE&t=1s>

(2) LaLa-chocolat TAKATSUKI

- ・利用者の方の作業内容

①厨房：商品の袋詰めや計量作業、型抜き、シーラー、ラベル貼り等

②施設外就労：

- ・特別養護老人ホーム入所者の洋服たたみ/仕分け業務

- ・グループホームの清掃

(浴室掃除、フロア掃除機、モップがけ、窓ふき、トイレ・玄関掃除等)

③ステップ：チラシ折り、チラシはさみ、ポストイング、ラベル貼り、封入等

- ・レクリエーション

新型コロナウイルスの影響もあり、外出プログラムは実施せず、所内で映画鑑賞。

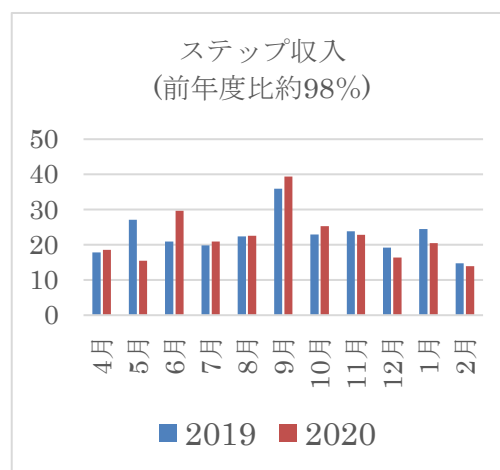
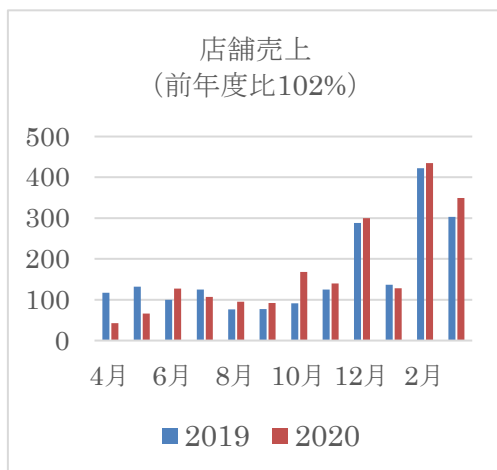
- ・おつかれさま会

1年の慰労会として実施。飲食は無しとして、1年の振り返り動画の鑑賞やご利用者の出し物を実施した。

- ・年間の売上向上に向けての取り組み

店舗の年間の売上は前年度比で約 102%、ステップの収入は約 98%で、新型コロナウイルスの影響はあったものの、昨年度の売上を維持することができた。

特に店舗の方は、5周年、バレンタイン、ホワイトデーいずれも前年度の売上を上回ることができた。



- ・新しい取引先

株式会社オオモリと新たに取引を開始した。

伊丹空港内にある「諸國屋」という店舗を運営する会社

店内でチョコレート・焼き菓子を数種類取り扱っていただくことになった。

15. 児童発達支援部

【高槻地区】

【こども発達支援センターwill】

① 利用決定者内訳

市町村名	利用決定者	
	未就学児	学齢児
高槻市	19	21
茨木市	4	4
摂津市	3	0
島本町	5	4
合計	31	29

②療育の利用率

【契約内容】

	児童発達 (名)	放デイ (名)	全体 (名)
契約定員 (名)	31	29	60
年間延べ回数	620	580	1200
年間必要回数	上限 (一人 : 20 回)		
1日定員	上限 (1日 10~12名)		

③【月別・事業別の利用率表】

延べ実績 (利用率)	児童発達	放デイ	全体
4月	1.00	0.95	0.98
5月	0.96	1.00	0.98
6月	0.88	0.95	0.91
7月	0.87	0.97	0.92
8月	0.88	0.87	0.87
9月	0.88	0.85	0.86
10月	0.88	0.94	0.91
11月	0.86	0.98	0.91
12月	0.86	0.91	0.88
1月	0.80	0.98	0.88
2月	0.94	0.95	0.95
3月	0.81	1.00	0.89
年間合計			
月別平均	88%	95%	91%

④保護者研修

■日 時：月2回、全10回、令和2年5月から令和3年3月まで実施

■会 場：高槻現代劇場（2月のみ高槻市生涯学習センター）・ウェブ受講

【保護者研修利用率】

コロナに伴い、正確な利用率は不明。

保護者研修申し込み者は35名。

実践研修申し込み者8名。

（2）大阪府通所支援事業者育成事業（大阪府委託事業）

①機関支援 機実数 9事業所

延べ数 55事業所

○内 訳

	訪問支援	来訪支援	実習受入	(電話相談)
実事業所数	9	4		2
延べ事業所数	43	7		5

圏域交流会 1回実施

内容、実施場所、参加事業所数など

	日 時	場 所	内 容	参加事業所数	参加人数
1	2021年3月5日～8日配信	web配信	令和2年度巡回事業所の実践報告	37	58 (申込者のみ記載)

【自閉症療育センタ Link】

① 利用決定者内訳

市町村名	利用決定者	
	未就学児	学齢児
枚方市	22	21
寝屋川市	1	1
四條畷市	3	0
交野市	3	3
大東市	0	0
合計	29	25

②療育の利用率

【契約内容】

	児童発達 (名)	放デイ (名)	全体 (名)
契約定員 (名)	29	25	54
年間延べ回数	580	500	1080
年間必要回数	上限 (一人：20回)		
1日定員	上限 (1日10～12名)		

③【月別・事業別の利用率表】

延べ実績 (利用率)	児童発達	放デイ	全体
4月	0.93	0.87	0.90
5月	0.93	0.79	0.87
6月	0.96	0.86	0.91
7月	0.89	0.91	0.90
8月	0.94	0.88	0.91
9月	0.93	0.88	0.91
10月	0.96	0.86	0.91
11月	0.85	0.90	0.87
12月	0.90	0.88	0.89
1月	0.77	0.89	0.83
2月	0.84	0.81	0.83
3月	0.88	0.90	0.89
年間合計	10.77	10.44	10.62
月別平均	90%	87%	89%

④保護者研修

■日 時：月2回、全10回、令和2年5月から令和3年3月まで実施

■会 場：枚方市民会館・ウェブ受講

【保護者研修利用率】

コロナに伴い、正確な利用率は不明。

保護者研修申し込み者は40名。

実践研修申し込み者10名。

【大阪地区】

【児童デイサービスセンターan】

①利用決定者内訳

市町村名	利用決定者	
	未就学児	学齢児

大阪市	40	20
合計	40	20

②療育の利用率

	児童発達 (名)	放デイ (名)	全体 (名)
契約定員 (名)	40	20	60
年間延べ回数	800	400	1200
年間必要回数	上限 (一人 : 20 回)		
1 日定員	上限 (1 日 10 名)		

③月別・事業別の利用率表

延べ実績 (利用率)	児童発達	放デイ	全体	療育回数
4 月	1.00	1.00	1.00	60
5 月	0.94	0.94	0.94	98
6 月	0.88	0.95	0.90	56
7 月	0.96	0.94	0.95	97
8 月	0.96	0.92	0.94	102
9 月	0.90	0.93	0.91	109
10 月	0.86	0.84	0.86	77
11 月	0.88	0.90	0.89	78
12 月	0.86	0.95	0.89	107
1 月	0.96	0.90	0.94	113
2 月	0.96	0.95	0.96	108
3 月	1.05	1.08	1.06	120
年間合計	11.21	11.29	11.24	1125
月別平均	0.93	0.94	0.94	94

④保護者研修

日時 : 月 1 回、全 10 回、2019 年 5 月から 2020 年 3 月まで実施

会場 : 大阪研修センター

◇保護者研修利用率

	参加予定	参加者	出席率	出席率 (%)
4 月	0	0	0	0
5 月	60	57	0.95	95
6 月	60	61	1.01	101
7 月	60	60	1.00	100
8 月	0	0	0	0

9月	60	59	0.98	98
10月	60	61	1.01	101
11月	60	56	0.93	93
12月	60	58	0.96	96
1月	60	57	0.95	95
2月	60	58	0.96	96
3月	60	58	0.96	96

【こども発達支援センターaz】

①利用決定者内訳

市町村名	利用決定者	
	未就学児	学齢児
大阪市	30	30
合計	30	30

②療育の利用率

	児童発達 (名)	放デイ (名)	全体 (名)
契約定員 (名)	30	30	60
年間延べ回数	600	600	1200
年間必要回数	上限 (一人 : 20 回)		
1日定員	上限 (1日 10名)		

③月別・事業別の利用率表

延べ実績 (利用率)	児童発達	放デイ	全体	療育回数
4月	0.88	0.90	0.88	23
5月	0.92	0.89	0.91	42
6月	0.95	0.95	0.95	104
7月	1.00	0.97	0.99	90
8月	0.93	0.97	0.95	100
9月	0.94	0.93	0.93	126
10月	0.98	0.96	0.97	101
11月	0.93	0.93	0.93	115
12月	0.88	0.98	0.93	106
1月	1.12	0.97	1.04	117
2月	1.02	0.93	0.97	107
3月	1.00	0.95	0.98	114
年間合計	11.55	11.33	13.33	1145

月別平均	0.96	0.94	0.95	94
------	------	------	------	----

④保護者研修

日時：月1回、全10回、2019年5月から2020年3月まで実施

会場：長居障がい者スポーツセンターおよび長居ユースホステル

◇保護者研修利用率

	参加予定	参加者	出席率	出席率 (%)
4月	0	0	0	0
5月	50	49	0.98	98
6月	50	40	0.80	80
7月	50	37	0.74	74
8月	0	0	0.00	0
9月	60	51	0.85	85
10月	60	42	0.70	70
11月	60	45	0.75	75
12月	60	41	0.68	68
1月	60	58	0.97	97
2月	60	56	0.93	93
3月	60	58	0.97	97
12月～コロナの影響により動画で提供				

【サポートセンターPASSO】

①利用決定者内訳

	契約し利用があった	契約したが利用が無かった
大阪市	12名	6名
島本町	1名	
高槻市	8名	1名
茨木市	5名	
摂津市	1名	
吹田市	2名	
枚方市	2名	
寝屋川市	1名	
箕面市	0名	1名
東大阪市	1名	
豊中市	1名	
豊能町	0名	1名
大阪狭山市	0名	1名

合計	34名	10名
----	-----	-----

※年度途中で1名退所

②療育の利用率

	児童発達 (名)	放デイ (名)	全体 (名)
契約定員 (名)	0	34	34
年間延べ回数	0	498	498
年間必要回数	上限 (一人: 2回から 24回)		
1日定員	上限 (1日 10名)		

③月別・事業別の利用率表

延べ実績 (利用率)	児童発達	放デイ	全体	療育回数
4月	0	0.59	0.59	23
5月	0	0.95	0.95	39
6月	0	1.00	1.00	44
7月	0	0.98	0.98	53
8月	0	1.08	1.08	41
9月	0	0.77	0.77	48
10月	0	0.94	0.94	49
11月	0	1.07	1.07	47
12月	0	0.86	0.86	38
1月	0	0.86	0.86	38
2月	0	0.86	0.86	38
3月	0	0.89	0.89	40
年間合計	0	10.87	10.87	498
月別平均	0	0.91	0.91	42

⑤淀川区発達障がい児等子育て支援事

実施予定: ピアカウンセリング 40回、親子講座 5回、一時保育 10回

実施: ピアカウンセリング 36回、親子講座 5回、一時保育 8回

ピアカウンセリング: 5月～3月

親子講座: 6月29日、7月27日、8月31日、11月2日、12月21日に実施

【発達支援あゆみ】

① 単独通所事業

【実績】

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約児	19	20	20	19	20	20	20	20	20	20	20	20	

数													
療育日数	13	18	22	21	20	20	22	19	20	19	19	23	236
延べ利用児数	54	174	364	330	271	345	366	305	301	328	331	303	3472
利用率	23%	48%	83%	83%	71%	86%	83%	80%	75%	86%	87%	69%	73%

※4月・5月は新型コロナウイルスの影響による通所自粛期間。

※4/1～3、12/29～1/3は閉所日。8月11日～14日（4日間）・12月24日～28日（3日間）・1月4日（1日間）・3月24日～31日（6日間）は自由通所日（送迎バス運休）。

【保護者勉強会】

- ・会場：発達支援あゆみ 1階 みかんの部屋
- ・講師：社会福祉法人北摂杉の子会 人材育成研修室 谷岡 とし子

内容		日時	参加者数
オリエンテーション・自己紹介・行動の理解	年少児	6月12日（金）10:30～12:00	7
	年中・年長児	6月26日（金）10:30～12:00	8
行動で書く	年少児	7月10日（金）10:30～12:00	9
	年中・年長児	7月17日（金）10:30～12:00	5
いいところを見つける・ほめる	年少児	9月4日（金）10:30～12:00	7
	年中・年長児	9月11日（金）10:30～12:00	6
行動の原因を知る	年少児	10月23日（金）10:30～12:00	8
	年中・年長児	10月30日（金）10:30～12:00	5
子どもへの一貫した対応	年少児	11月13日（金）10:30～12:00	8
	年中・年長児	11月20日（金）10:30～12:00	5
わかりやすい指示の出し方	年少児	12月4日（金）10:30～12:00	9
	年中・年長児	12月18日（金）10:30～12:00	6

【Zoomによるオンライン研修会】

内容・講師	日時	参加者数
「自閉スペクトラムの理解と支援」 社会福祉法人北摂杉の子会 人材育成研修室 堀内 桂	12月10日（木）10:15～12:00	18

② 個別療育事業

【実績】

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約児数	14	14	14	24	24	24	30	30	29	29	29	29	-

延べ利用 児数	9	13	16	18	22	33	23	17	28	24	28	27	258
保護者・ 関係機関 との連絡 調整	9	5	6	6	14	23	17	8	31	10	8	10	147
保護者・ 関係機関 との面談		11	4		1	3	11			2		17	49
所属先訪 問	-	-	-	-	1	2	3	-	-	-	-	-	6

【所属園訪問】

8月31日	アトリオとねやまこども園
9月8日	のばたけこども園
9月23日	ぶっこう幼稚園
10月5日	せんりひじり幼稚園
10月19日	西丘こども園
10月27日	神童幼稚園

【保護者研修】

1	DVD 自閉症とともに～自閉症の人を理解する～
2	DVD 自閉症とともに～自閉症の人を支援する～
3	自閉スペクトラム症の特性の理解～社会性・コミュニケーション・想像すること～
4	自閉スペクトラム症の特性の理解～感覚面の特徴～
5	子どもにわかりやすく伝えるには～特性に合わせた工夫～
6	人との関りやコミュニケーション
7	評価について～子どもの“芽生え”をみつけよう～
8	困った行動の原因を考えてみよう
12/10 web	自閉スペクトラムの理解と支援（講師：堀内桂）

③ 障害児一時預かり事業

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利 用児数	31	16	19	21	25	20	23	25	24	23	25	37	289

本年度新規契約児数・・・・・・・・・・11件

④ 豊中市子育て発達支援プログラム実施支援業務

1. 子育て発達支援プログラム「基礎編」（ペアレント・プログラム）

① プログラム

回	日程	内容	職員	
第1回	6月23日	現状把握を書く！自分のことについて書いてみよう	谷岡・水口	グループワークフォロー
第2回	7月7日	行動で書く！	谷岡・水口	
第3回	7月21日	同じカテゴリーを見つける	水口	
第4回	9月1日	ギリギリセーフを見つける	谷岡・水口	
第5回	9月15日	ペアプロで見つけたことを確認する	谷岡・水口	

時間：9：45～11：30

場所：豊中市立児童発達支援センター

日程	時間	場所	職員	内容
5月13日(水)	13：00～13：15	電話	水口	打ち合わせ日程調整
5月26日(火)	10：00～11：00	あゆみ	谷岡・水口	プログラムの目的、内容、受講者選定、今後の進め方の打ち合わせ
5月27日(水)	16：00～16：30	メール 電話	水口	事前面談票フォームの確認
6月3日(水)	10：00～10：10	電話	水口	打ち合わせ日程調整
6月16日(火)	14：00～15：00	あゆみ	谷岡・水口	受講者の情報共有、1回目の打ち合わせ
7月14日(火)	10：00～11：00	あゆみ	谷岡・水口	事後振り返りと次回の打ち合わせ
8月25日(火)	17：00～17：10	電話	水口	打ち合わせ日程調整
8月27日(木)	14：30～14：50	電話	水口	プログラム内容について
8月28日(金)	14：00～14：10	電話	水口	打ち合わせ日程調整
9月1日(火)	12：00～13：00	つぼみ	谷岡・水口	事後振り返りと次回の打ち合わせ
9月14日(月)	17：00～17：10	電話	水口	プログラムについて
9月15日(火)	12：00～13：00	つぼみ	谷岡・水口	事後振り返りと次回の打ち合わせ プログラムの振り返り

② 打ち合わせ・振り返り・連絡調整等

2. 子育て発達支援プログラム「ステップアップ編」(ペアレント・トレーニング)

① プログラム

回	日程	内容	職員	
第1回	10月6日(火)	行動を見る	谷岡・水口	サブ講師 ・グループ
第2回	10月20日(火)	ほめることを習慣にしよう	谷岡・水口	

第3回	11月10日(火)	子どもの行動への良い注目をしよう	谷岡・水口	ワーク担当 ・参加者フ ォロー
第4回	11月24日(火)	親子タイムと指示の出し方	谷岡・水口	
第5回	12月8日(火)	ほめるための準備をしよう	谷岡・水口	
第6回	12月22日(火)	まとめ	谷岡・水口	

時間：10：30～12：00

場所：豊中市立児童発達支援センター

② 打ち合わせ・振り返り・連絡調整等

日程	時間	場所	職員	内容
8月12日(水)	14：00～14：10	電話	水口	プログラム日程連絡
8月19日(水)	11：00～11：20	メール	水口	プログラム構成の情報提供
9月16日(水)	9：30～9：45	電話	水口	受講者について
9月24日(水)	17：00～17：20	電話	水口	プログラム内容について
9月30日(水)	13：30～13：45	電話	水口	受講者について
10月2日(金)	13：30～13：45	電話	水口	プログラム内容について
10月6日(火)	12：15～13：15	つぼみ	谷岡・水口	事後振り返りと次回の打ち合わせ
10月20日(火)	12：15～13：15	つぼみ	谷岡・水口	事後振り返りと次回の打ち合わせ
11月5日(木)	9：00～9：15	電話	水口	プログラム内容について
11月5日(木)	9：30～10：00	電話	谷岡	プログラム内容について
11月10日(火)	12：15～13：15	つぼみ	谷岡・水口	事後振り返りと次回の打ち合わせ
11月24日(火)	12：15～13：15	つぼみ	谷岡・水口	事後振り返りと次回の打ち合わせ
11月26日(木)	15：00～15：10	電話	水口	プログラム日程について
12月4日(金)	16：00～16：10	電話	水口	プログラム内容について
12月8日(火)	12：15～13：15	つぼみ	谷岡・水口	事後振り返りと次回の打ち合わせ
12月21日(月)	12：00～12：15	電話	水口	プログラム内容について
12月22日(火)	12：15～13：15	つぼみ	谷岡・水口	事後振り返りと次回の打ち合わせ
2月4日(火)	15：30～16：30	あゆみ	谷岡・水口	事業全体の振り返り 次年度について
2月24日(水)	15：00～15：15	電話	水口	振り返り

Ⅲ. 資料編

1. 利用者の概要

(1) 萩の杜

①年齢別・性別人員構成

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男	0	0	3	25	10	0	38
女	0	0	0	8	4	0	12
合計	0	0	3	33	14	0	50

②障がい支援区分

区分	6	5	4	3	2	1	区分なし
人数	40	9	1	0	0	0	0

③療育手帳等取得状況

障害程度	療育手帳				身体障害者手帳						
	A	B1	B2	計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
人数	48	2	0	50	4	2	1	1	1	2	11

(2) ジョブサイトひむろ 令和3年3月31日現在

①年齢別・性別人員構成

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男	3	12	6	14	3	2	40
女	0	5	6	5	1	0	17
合計	3	17	12	19	4	2	57

②障害区分別

区分	6	5	4	3	2	1	区分なし
人数	28	24	5	0	0	0	0

③療育手帳取得状況

障害程度	療育手帳			身障手帳						
	A	B	計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
合計	55	2	57	3	2	1	0	2	0	8

(3) ふれいすB e

①年齢別・性別人員構成

【生活介護】

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男	21	13	1	1	1	37
女	12	7	0	0	0	19
合計	33	20	1	1	1	56

【就労継続支援B型】

	20代	30代	40代	50代	60代	合計

男	9	8	1	0	0	18
女	4	6	0	0	0	10
合計	13	14	1	0	0	28

②障害支援区分

【生活介護】

区分	6	5	4	3	2	1	区分なし
人数	28	16	10	2	0	0	0

【就労継続支援B型】

区分	6	5	4	3	2	1	区分なし
人数	0	1	9	10	2	0	6

③療育手帳等取得状況

	療育手帳				身体障害者手帳						
障害程度	A	B1	B2	計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
人数	64	15	3	82	21	5	0	0	0	0	26

(4) 地域生活支援部たかつき

【レジデンスなさはら 2丁目・グループホームとんだ】

①年齢別・性別人員構成

10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
0	0	3	9	3	1	(男性12名・女性4名)

②障害区分別 (共同生活援助)

区分	6	5	4	3	2	1	非該当
人数	2	8	4	1	0	0	1

【レジデンスなさはら】

①年齢別・性別人員構成

10代	20代	30代	40代	50代以上	合計
0	1	6	11	2	(男性13名・女性7名)

②障害区分別 (共同生活援助)

区分	6	5	4
人数	18	2	0

【レジデンスなさはらもとまち】

①年齢別・性別人員構成

10代	20代	30代	40代	50代	合計
0	13	1	0	0	(男性14名)

②障害区分別 (共同生活援助)

区分	6	5	4
----	---	---	---

人数	9	5	0
----	---	---	---

(5) 地域生活支援部よど

①年齢別・性別人員構成

事業所	性別	20代	30代	40代	50代	合計
ジョブサイト よど	男性	9	17	2	0	28
	女性	3	4	0	0	7
ジェイ・ブランチ よど	男性	8	6	2	0	16
	女性	3	1	0	2	6

②障害支援区分

	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	区分なし
ジョブサイト よど	16	11	4	4	0	0	0
ジェイ・ブランチ よど	0	0	3	4	2	2	11

③療育手帳取得状況

	療育手帳			精神障害者保健福祉手帳			
	A	B	合計	1級	2級	3級	合計
ジョブサイト よど	25	7	32	1	2	0	3
ジェイ・ブランチ よど	1	14	15	0	6	2	8

(6) 就労支援部

ジョブジョイントおおさか

①年齢別・性別人員構成

10代	20代	30代	40代	合計
3	14	10	5	(男性19名・女性13名)

②療育手帳取得状況

障害程度	療育手帳			精神障害者保健福祉手帳			未取得 申請中
	A	B	計	2級	3級	計	
合計	0	8	8	20	4	24	0

ジョブジョイントおおさか たかつきブランチ

①年齢別・性別人員構成

10代	20代	30代	40代	合計
2	27	12	2	(男性29名・女性14名)

②療育手帳取得状況

	療育手帳			精神障害者保健福祉手帳			未取得
障害程度	A	B	計	2級	3級	計	申請中
合計	0	18	18	10	13	23	2

LaLa-chocolat TAKATSUKI

①年齢別・性別人員構成

10代	20代	30代	40代	合計
3	10	5	6	(男性11名・女性13名)

②療育手帳取得状況

	療育手帳			精神障害者保健福祉手帳			未取得
障害程度	A	B	計	2級	3級	計	
合計	13	11	24	0	0	0	0

2. 職員配置 (令和3年3月31日現在)

(1) 法人本部 (法人事業部)

	基準職員数	実配置職員数
正職		6.0
嘱託		4.0
パートタイマー		4.0
計		14.0

(2) 萩の杜

	基準職員数	実配置職員数
正職		21.0
嘱託		4.0
パートタイマー		23.3
計	32.9	48.3

(3) ショートステイセンターぶれす

	基準職員数	実配置職員数
正職	基準がなく、 萩の杜と一体 で支援に支障 のない数	0
嘱託		2.0
パートタイマー		1.6
計		3.6

(4) ジョブサイトひむろ

	基準職員数	実配置職員数
正職		13.0
嘱託		3.0
パートタイマー		19.7

計	30.0	35.7
---	------	------

(5) グループホームとんだ・レジデンスなさはら2丁目

	基準職員数	実配置職員数
正職		3.4
嘱託		1.0
パートタイマー		6.5
計	10.3	10.9

(6) レジデンスなさはら

	基準職員数	実配置職員数
正職		8.3
嘱託		4.0
パートタイマー		8.2
計	16.4	20.5

(7) レジデンスなさはらもとまち

	基準職員数	実配置職員数
正職		5.3
嘱託		3.0
パートタイマー		4.2
計	11.5	12.5

(8) ふれいす Be 通所部門

	基準職員数	実配置職員数
正職		15.0
嘱託		3.8
パートタイマー		22.6
計	26.6	41.4

(9) あんだんて

	基準職員数	実配置職員数
正職		4.9
嘱託		0.0
パートタイマー		0.5
計		5.4

(10) すぎのこ訪問看護ステーション

	基準職員数	実配置職員数
正職		2.0
嘱託		0.0
パートタイマー		2.8
計	2.5以上※	4.8

※保健師、看護師または准看護師

(11) アクトおおさか

	基準職員数	実配置職員数
正職		3.0
嘱託		0.0
パートタイマー		2.4
計		5.4

(12) ジョブサイトよど

	基準職員数	実配置職員数
正職		7.0
嘱託		2.9
パートタイマー		7.7
計	16.1	17.6

(13) ジェイ・ブランチよど

	基準職員数	実配置職員数
正職		2.0
嘱託		2.0
パートタイマー		2.0
計	3.3	6.0

(14) レジデンスよど 三津屋北ホーム

	基準職員数	実配置職員数
正職		2.0
嘱託		1.0
パートタイマー		1.5
計	5.4	4.5

(15) ジョブジョイントおおさか

	基準職員数	実配置職員数
正職		3.0
嘱託		1.0
パートタイマー		3.5
計	5.3	7.5

(16) ジョブジョイントおおさか たかつきブランチ

	基準職員数	実配置職員数
正職		2.0
嘱託		4.0
パートタイマー		4.0
計	6.6	10.0

(17) LaLa-chocolat TAKATSUKI

	基準職員数	実配置職員数
正職		3.0
嘱託		1.0
パートタイマー		3.5
計	4.2	7.5

(18) こども発達支援センターwill

	基準職員数	実配置職員数
正職		3.0
嘱託		0.8
パートタイマー		1.4
計	3.0	5.2

(19) こども発達支援センターLink

	基準職員数	実配置職員数
正職		3.0
嘱託		0
パートタイマー		1.6
計	3.0	4.6

(20) 児童デイサービスセンターan・PASSO

	基準職員数	実配置職員数
正職		4
嘱託		0
パートタイマー		1.2
計	4.0	5.2

(21) こども発達支援センターaz

	基準職員数	実配置職員数
正職		3.0
嘱託		0
パートタイマー		0
計	3.0	3.0

(22) こども相談支援センターwish

	基準職員数	実配置職員数
正職		1.9
嘱託		0.0
パートタイマー		0.8
計		2.7

(23) 発達支援あゆみ

	基準職員数	実配置職員数
正職		11.8
嘱託		3.0
パートタイマー		3.4
計		18.2

(24) 人材育成研修室

	基準職員数	実配置職員数
正職		1.4
嘱託		0.2
パートタイマー		0
計		1.6

3. 採用状況

令和2年4月1日	萩の杜	竹澤 脩太
令和2年4月1日	萩の杜	札幌 愛実
令和2年4月1日	ふれいす Be	平田 紗彩
令和2年4月1日	ふれいす Be	江本 裕稀
令和2年4月1日	ふれいす Be	辻内 舞香
令和2年4月1日	ふれいす Be	中山 紗佑里
令和2年4月1日	レジデンスなさはら2丁目	小沢 有咲
令和2年4月1日	レジデンスなさはら	前田 美奈
令和2年4月1日	レジデンスなさはらもとまち	井出 帆香
令和2年4月1日	レジデンスなさはらもとまち	柴田 健太
令和2年4月1日	レジデンスなさはらもとまち	下飼 凌太
令和2年4月1日	すぎのこ訪問看護ステーション	神垣 律子
令和2年4月1日	あんだんて	陶国 友紀
令和2年4月1日	アクトおおさか	藤田 佑樹
令和2年4月1日	ジョブサイトよど	西岡 さゆり
令和2年4月1日	ジェイ・ブランチよど	松田 勇祐
令和2年4月1日	発達支援あゆみ	松元 和子
令和2年4月1日	発達支援あゆみ	吉田 麻衣
令和2年4月1日	発達支援あゆみ	久保田 知佳
令和2年4月1日	発達支援あゆみ	平島 春香
令和2年4月1日	発達支援あゆみ	浮田 千紗子
令和2年4月1日	発達支援あゆみ	宮崎 菜摘
令和2年4月1日	発達支援あゆみ	横山 史恵
令和2年5月1日	レジデンスなさはらもとまち	京極 正俊
令和2年5月1日	レジデンスなさはら	中山 春美

令和2年7月1日	ふれいす Be	南菌 俊佑
令和2年8月1日	ジョブサイトよど	桑原 涼
令和2年8月1日	すぎのこ訪問看護ステーション	小川 信行
令和2年10月1日	LaLa-chocolat TAKATSUKI	高橋 賢一
令和2年10月1日	発達支援あゆみ	大黒 朝美

4. 退職

令和2年4月15日	ジョブサイトひむろ	杉田 里恵
令和2年4月30日	あんだんて	内田 郁江
令和2年6月14日	ジョブサイトよど	西岡 さゆり
令和2年6月30日	法人事業部	田端 たまみ
令和2年6月30日	レジデンスなさはらもとまち	藤田 雄大
令和2年7月6日	ジョブサイトひむろ	高木 裕晃
令和2年9月20日	萩の杜	仲野 真由
令和2年10月31日	LaLa-chocolat TAKATSUKI	椿 志穂里
令和3年3月31日	法人事業部	八頭司 うの
令和3年3月31日	ふれいす Be	奥平 健正
令和3年3月31日	アクトおおさか	柳屋 美香
令和3年3月31日	will	矢野 ゆかり
令和3年3月31日	ジョブサイトひむろ	山本 菜月
令和3年3月31日	発達支援あゆみ	松元 和子

5. 正職員の主な資格取得状況

資格の名称	人数
社会福祉士	63
介護福祉士	35
保育士	28
精神保健福祉士	15
公認心理師	7
臨床発達心理士	4
臨床心理士	4
准看護師	1
看護師	3
作業療法士	4
管理栄養士	2
日商簿記3級	4
クリーニング師	1

6. 実習受け入れ状況

実習校名	施設名	人数	期間
武庫川女子大学大学院	JJ おおさか	2	4～9月（週1回） 10～3月（週1回）
四幸舎和会	ジョブサイトひむろ	1	7月7日
	レジデンスなさはら	2	7月16日
川崎医療福祉大学	レジデンスなさはらもとまち	1	7月19日～12月20日
知的障害者福祉協会		1	7月20日～8月31日
京都女子大学	レジデンスなさはら	2	8月24日～9月11日 2月1日～2月26日
京都医療福祉専門学校	ジョブサイトひむろ	2	9月14日～9月23日
武庫川女子大学大学院	アクトおおさか	1	9月16日～12月23日
国立のぞみの園現任研修	レジデンスなさはら	1	10月19日～10月26日
中部学院大学	ジョブサイトひむろ	1	10月19日～10月23日 11月9日～11月12日
国立のぞみの園	ジョブサイトひむろ	1	10月22日
武庫川女子大学大学院	たかつきランチ	1	10～3月（週1回）
国立のぞみの園現任研修	レジデンスなさはら	1	11月9日～11月16日
	NPO法人 いきいき	1	12月16、17日
枚方支援学校	ジョブサイトひむろ	1	12月10日
京都医療福祉専門学校	ジョブサイトひむろ	1	1月11日～2月12日
京都女子大学		1	2月10日
京都女子大学	ジョブサイトひむろ	2	2月11日
京都女子大学		1	2月15日
奈良女子大学大学院		1	2月19日
龍谷大学（インターン）	ジョブサイトひむろ	1	2月24日
佛教大学	ふれいす Be	1	3月1日
	ふれいす Be	1	3月9日
同志社大学	ふれいす Be	1	3月16日

令和2年度実習団体数：24団体

7. 職員研修・研究会

開催月	研修会・研究会の名称
4	サービスマナー研修
5	PECS レベル2 アドバンスワークショップ
	サービスマナー研修
	メンター研修

6	PECS レベル1 ワークショップ	
	喀痰吸引研修 (3号研修)	
	STEP 勇気づけセミナー	
	プレジャーサポート主催「アビトレ」	
7	社会福祉士実習指導者講習会	
	てんかん基礎講座	
	強度行動障害と医療研修	
	グループホーム世話人研修	
	救急救命講習	
	相談支援初任者研修	
	ソーシャルストーリーの研修会	
	事業所間交流研修 (レジデンスなさはらもとまち)	
	就労継続支援 B 型勉強会	
	ASD とその家族のための ACT	
	8	ノウフク西日本フォーラム
		自閉症カンファレンス
		PECS レベル1 ワークショップ
事業所間交流研修 (レジデンスなさはらもとまち)		
9	令和2年度強度行動障がい支援者養成研修 (基礎研修)	
	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	
	新型コロナウイルス対策オンライン研修&相談会	
	ダウン症セミナー	
	全就協主催の「在宅訓練」の研修会	
	行動援護従事者養成研修	
	サービス管理責任者研修会	
10	知的障害者施設部会	
	強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	
	令和2年度大阪府強度行動障がい支援者養成研修 (実践研修)	
	サービスマナー中級編研修	
	サービスマナーセミナー中級リーダーコース	
	意思決定支援研修	
	相談支援従事者初任者研修	
	e サービス ベーシック講座@奈良	
	アンガーマネジメント研修	
	e サービス 「やってきた! 門塾」	
発達障害特化型就業支援基礎研修		
e サービス 「やってきた! 門塾」		

	WAIS-4 研修会
	ASEAN 社会保障ハイレベル会合
	発達障害者支援センター全国連絡協議会実務者研修会
11	PECS レベル 2 アドバンスワークショップ
	就労支援フォーラム NIPPON フクオカ
	令和 2 年度強度行動障がい支援者養成研修 (実践研修)
	相談支援従事者研修
	リスクマネジメント研修
	メンタルヘルス・ハラスメント研修
	e サービス ベーシック講座@奈良
	エルムおおさか主催の研修会「発達障害のある当事者の方の話」
	行動援護従事者養成研修
	事業所間交流研修 (ふれいす Be)
12	トーキングマット研修
	重症心身障害児者への 3 大ケア
	e サービス デイキャンプ
	自閉症カンファレンス 2020
	令和 2 年度強度行動障がい支援者養成研修 (実践研修)
	サービス管理責任者等養成研修(更新研修)
	サービス管理責任者等養成研修(基礎研修)
	大阪府グループホーム世話人研修
	個人情報保護研修
	横浜におけるグループホームの実践
	Vineland-II 適応行動尺度
	事業所間交流研修 (ジョブサイトひむろ)
	福祉職員キャリアパス対応生涯学習研修 (初任者編)
	大阪市障がい者相談支援研修センターセミナー
	発達障害者支援センター全国連絡協議会近畿ブロック研修会
	内部研修 発達障がいの方の就労の現状について
1	知的障害援助専門員養成研修 (スクーリング)
	令和 2 年度大阪府サービス管理責任者研修【基礎研修】
	サービス管理責任者更新研修
	OJT リーダー養成研修
	福祉職員キャリアパス対応生涯学習研修 (中堅職員編)
2	日本ペアレント・メンター研究会 WEB セミナー
	令和 2 年度大阪府サービス管理責任者研修【更新研修】
	サービス管理責任者等養成研修(更新研修)

	キックスタート・トラウマを理解する
	オンライン研修ファシリテート研修
	OJT リーダー養成研修
	就労支援基礎研修
	てんかんの勉強会
	犯罪に巻き込まれないための地域ネットワークづくり
	門 眞一郎先生 PECS 研修 SV (あゆみ)
	障害者問題研究 48 巻 3 号「障害基礎年金の制度的課題と生活問題」を 読む会
3	意思決定支援フォーラム 2020
	今話題の「1on1」はどのように導入され活用されているのか
	現場リーダーのための指導法とマネジメント
	リーダー養成研修
	高齢期障がい者支援で大切にしたいこと
	たかつき福祉基礎講座
	就労支援の研修会「CEF2020」
	自閉症 e サービス公開講座
	メンター研修会
	サービス管理責任者更新研修

令和 2 年度参加研修会（研究会）数：96